

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画		
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める			
	1 目	一般管理費		(1)	透明性の高い行政を推進する			
実施計画掲載ページ		P11	中 事 業	広聴事業関係費				
事業コード		001-002-001-00005	事 業 名	広聴事業				
目的及び事業内容		より良いまちづくりをめざし、市民からの御意見・御提案を市政に反映するため、市政提案・苦情等意見の受付、陳情・要望受付、パブリックコメント、市政教室、まちづくり懇談会等の広聴事業を実施する。						
取 組 実 績		1 市政提案・・・・・・・・・・25件 2 苦情等・・・・・・・・・・38件 3 陳情・要望・・・・・・・・・・53件 復興政策部5件、総務部3件、財務部2件、復興事業部3件、健康部4件、福祉部2件、産業部7件、建設部12件、病院局1件、教育委員会4件、河北総合支所1件、桃生総合支所4件、北上総合支所2件、牡鹿総合支所3件 4 パブリックコメント・・8件の計画等に対する意見募集 (1)石巻市地域防災計画(案) (2)第2期石巻市中心市街地活性化基本計画(案) (3)石巻市新型インフルエンザ等対策行動計画(素案) (4)石巻市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画(案) (5)石巻市第4期障害福祉計画(案) (6)子ども・子育て支援事業計画(石巻市子ども未来プラン)(案) (7)(仮称)石巻市防犯カメラ設置条例(素案) (8)石巻市行財政運営プラン(案) 5 市政教室・・・・・・・・・・12回実施、参加人数124人 見学先：魚市場、復興事業現場、市民球場 6 まちづくり懇談会・・・・6団体と実施、170名出席 7 市民意識調査・・・・調査期間 7月25日～8月15日 調査配布数 2,700人 回収数1,021件(回収率37.8%) 調査項目 (1)東日本大震災に伴う復旧・復興事業について (2)地域福祉について (3)家族と子育てについて (4)環境問題について (5)ホーム・エネルギー・マネジメントシステムの利用について (6)広報事業について						
成 果		市政提案・苦情等については、市の考え方、対応方法について直接市民へ回答し、理解を得るよう努めた。 陳情要望等については、市長が直接考え方を伝えることなどにより、市民が市政をより身近なものに感じ、より市政への関心を高めることができた。 パブリックコメントでは、8件中7件の案件で計87項目の貴重な御意見・御提言をいただき、各計画策定の参考とした。 市政教室においては、市民が復興状況や市の新たな施設等を見学することにより、市政への理解を高めることができた。 まちづくり懇談会において、市長等と意見交換を行い市政への理解を深めることができた。 隔年実施の市民意識調査を行い、6項目の調査項目を設け、回答を分析し、今後の市政運営に役立てることができた。						
成果に係る評価		市民から意見を直接聴くことは、重要であることから、まちづくり懇談会等の広聴事業について、市民への周知を図り、積極的に開催するように働きかける。 また、震災後休止していた広聴事業については、平成25年度にまちづくり懇談会を再開しているが、市長室開放デー、移動市長室、市政モニターについても復興の状況を見ながら再開を検討する。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	446,000		379,798					379,798

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()																	
	1 項	総務管理費		第 節			()																	
	1 目	一般管理費		()			()																	
実施計画掲載ページ			中 事 業	功労者表彰・礼遇者関係費																				
事業コード			事 業 名	市政功労者表彰事業																				
目的及び事業内容		<p>市の行政、経済、文化、社会その他各般にわたって市政の振興に寄与し、又は市民の模範と認められる善行があった個人・団体を表彰し、その功績を讃える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政功労表彰候補者の推薦依頼 ・推薦委員会及び審査委員会の開催 ・表彰式の開催 																						
取 組 実 績		<p>1 市政功労表彰候補者の推薦依頼 市報・ホームページによる市民への周知及び各課への通知により、市政の発展に功績のある方の推薦を依頼し、123名・1団体の推薦があった。</p> <p>2 推薦委員会及び審査委員会の開催 市政功労表彰候補者として推薦された方々を、市民の方で構成する推薦委員会及び部長等の市職員で構成する審査委員会で審査し、87名・1団体の市政功労者が決定された。</p> <p>3 表彰式の開催 (1) 市政功労者として決定された方々に表彰状及び記念品を授与するため、表彰式を開催した。 日 時：平成26年11月16日(日) 午後2時から 場 所：遊楽館 かなんホール 出席者数：54名・1団体 (2) 表彰状及び受賞者を、市報・地元新聞で周知した。</p>																						
成 果		<p>市政のために尽力した方々を表彰し、その功績を讃え、広く市民に知らせることにより、受賞者のさらなる活躍が期待できるとともに、市民の市政への参加意識の高揚に寄与することができた。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>年度別取組実績</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>市政功労者推薦者数</td> <td>140名</td> <td>153名</td> <td>124名</td> </tr> <tr> <td>市政功労者決定者数</td> <td>122名 (87.1%)</td> <td>117名 (76.5%)</td> <td>88名 (71.0%)</td> </tr> <tr> <td>表彰式出席者数</td> <td>65名 (53.3%)</td> <td>77名 (65.8%)</td> <td>55名 (62.5%)</td> </tr> </table>							年度別取組実績	H24	H25	H26	市政功労者推薦者数	140名	153名	124名	市政功労者決定者数	122名 (87.1%)	117名 (76.5%)	88名 (71.0%)	表彰式出席者数	65名 (53.3%)	77名 (65.8%)	55名 (62.5%)
年度別取組実績	H24	H25	H26																					
市政功労者推薦者数	140名	153名	124名																					
市政功労者決定者数	122名 (87.1%)	117名 (76.5%)	88名 (71.0%)																					
表彰式出席者数	65名 (53.3%)	77名 (65.8%)	55名 (62.5%)																					
成果に係る評価		<p>市政のために尽力した者を積極的に掘り起こし、その功績を讃えることができたが、更に、出席率の向上のため開催にあたってはその手法を検討していくこととする。</p>																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	747,000	450,549				450,549																		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()																																																																																
	1 項	総務管理費		第 節			()																																																																																
	1 目	一般管理費		()			()																																																																																
実施計画掲載ページ			中 事 業	情報公開推進費																																																																																			
事業コード			事 業 名	情報公開・個人情報保護事業																																																																																			
目的及び事業内容		<p>1 情報公開 市民の市政について知る権利を保障するとともに、情報の一層の公開を図る。</p> <p>2 個人情報保護 本市の保有する個人情報の開示及び訂正を求める権利を明らかにするとともに、個人情報の適正な取扱いを確保する。</p>																																																																																					
取 組 実 績		<p>1 開示請求の決定状況</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="2">開示請求件数</td> <td colspan="7">請求に対する決定等</td> </tr> <tr> <td>開示</td> <td>一部開示</td> <td>開示拒否</td> <td>不存在</td> <td>その他</td> <td>取下</td> </tr> <tr> <td>情報公開</td> <td>134件</td> <td>47件</td> <td>66件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>9件</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>個人情報</td> <td>18件</td> <td>10件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>2 不服申立ての状況</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="2">不服申立件数</td> <td rowspan="2">取下</td> <td rowspan="2">諮問</td> <td rowspan="2">答申</td> <td colspan="3">不服申立てに対する決定等</td> <td rowspan="2">次年度繰越し</td> </tr> <tr> <td>却下</td> <td>棄却</td> <td>認容</td> <td>一部認容</td> </tr> <tr> <td>2件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> </table> <p>3 情報公開・個人情報保護審査会の開催状況</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="2">諮問件数(開催回数)</td> <td colspan="4">諮問の内容</td> <td rowspan="2">答申</td> <td rowspan="2">次年度繰越し</td> </tr> <tr> <td>不服申立て(情報公開)</td> <td>不服申立て(個人情報)</td> <td>個人情報収集</td> <td>個人情報目的外利用</td> </tr> <tr> <td>2件(4回)</td> <td>1件(3回)</td> <td>0件</td> <td>1件(1回)</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> </tr> </table> <p>4 情報公開コーナーの利用状況</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="2">利用件数</td> <td colspan="3">利用件数の内訳</td> </tr> <tr> <td>行政資料等の閲覧</td> <td>うち行政資料等の複写</td> <td>その他相談等</td> </tr> <tr> <td>563件</td> <td>207件</td> <td>(91件)</td> <td>356件</td> </tr> </table>							開示請求件数	請求に対する決定等							開示	一部開示	開示拒否	不存在	その他	取下	情報公開	134件	47件	66件	0件	2件	9件	10件	個人情報	18件	10件	4件	0件	1件	2件	1件	不服申立件数	取下	諮問	答申	不服申立てに対する決定等			次年度繰越し	却下	棄却	認容	一部認容	2件	1件	1件	1件	0件	0件	1件	0件	諮問件数(開催回数)	諮問の内容				答申	次年度繰越し	不服申立て(情報公開)	不服申立て(個人情報)	個人情報収集	個人情報目的外利用	2件(4回)	1件(3回)	0件	1件(1回)	0件	2件	0件	利用件数	利用件数の内訳			行政資料等の閲覧	うち行政資料等の複写	その他相談等	563件	207件	(91件)	356件
開示請求件数	請求に対する決定等																																																																																						
	開示	一部開示	開示拒否	不存在	その他	取下																																																																																	
情報公開	134件	47件	66件	0件	2件	9件	10件																																																																																
個人情報	18件	10件	4件	0件	1件	2件	1件																																																																																
不服申立件数	取下	諮問	答申	不服申立てに対する決定等			次年度繰越し																																																																																
				却下	棄却	認容		一部認容																																																																															
2件	1件	1件	1件	0件	0件	1件	0件																																																																																
諮問件数(開催回数)	諮問の内容				答申	次年度繰越し																																																																																	
	不服申立て(情報公開)	不服申立て(個人情報)	個人情報収集	個人情報目的外利用																																																																																			
2件(4回)	1件(3回)	0件	1件(1回)	0件	2件	0件																																																																																	
利用件数	利用件数の内訳																																																																																						
	行政資料等の閲覧	うち行政資料等の複写	その他相談等																																																																																				
563件	207件	(91件)	356件																																																																																				
成 果		<p>1 情報公開 公文書の開示請求については、迅速かつ適切な開示を行うとともに、情報公開制度の適正な運営に努め、情報公開の推進に取り組むことができた。請求件数は、前年度(101件)と比較すると33件増加(約33%増)の134件である。その主な増加要因は工事関係書類(工事実施設計書等)の請求が増加したためである。なお、建設工事等の設計積算金額の一部について、契約締結後の開示対象範囲を拡大したことにより、より市政の透明性が向上した。 また、情報公開コーナーの利用についても、行政資料等の複写や閲覧など、市民に対する情報提供を円滑に行うことができた。</p> <p>2 個人情報保護 個人の権利利益の侵害の防止を図り、個人の人格と尊厳の尊重に寄与した。また、本人に対し個人情報の開示を行ったことで、自己情報を求める権利を保障するとともに、個人の権利利益を保護することができた。 さらに、市が行う公道上における防犯カメラの設置について、審査会の答申を受け、防犯カメラ条例を制定するなど、個人情報収集の観点から、より適正な事業の推進を図ることができた。</p>																																																																																					
成果に係る評価		<p>公文書の開示請求については、請求内容が詳細・広範囲にわたるものが多いことから、その情報の内容に応じ、保護される利益と公益上の必要性とを個別具体的に比較し、判例等を踏まえながら、適正かつ迅速な情報公開事務に継続して努めていく必要がある。また、情報の一層の公開を図るため、市民に必要な情報を積極的に提供する情報提供施策の充実を図り、情報公開を総合的に推進していく必要がある。</p> <p>個人情報保護については、今後も引き続き、個人の権利利益が侵害されることのないよう、個人情報保護条例を遵守し、情報公開・個人情報保護審査会の意見を踏まえながら、個人情報の適正な取扱いの確保に努めていく必要がある。</p>																																																																																					
(単位：円)																																																																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																	
	2,358,000	2,136,851				148,590	1,988,261																																																																																

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()	
	2 目	文書広報費		(1)	透明性の高い行政を推進する		()	
実施計画掲載ページ		P 11	中 事 業		広報活動費			
事業コード		001-002-001-00004	事 業 名		「市報いしのまき」発行事業			
目的及び事業内容		行政情報を広く市民に周知する手段として市報を発行し、市民の市政への関心を高め、市政に対する理解と協力を得るため毎月発行する。						
取組実績		<p>毎月1日号を発行し、市の行政情報、各種のお知らせ、催事、文化スポーツ行事、募集、子育て支援情報、健診のお知らせなどを掲載し、市民へ情報提供を行った。15日号と併せて多くの復興関係の情報を掲載、発信した。</p> <p>〔市報発行〕 毎月1日発行、発行部数月63,500部、12ページ（うちフルカラー8ページ、白黒4ページ）</p> <p>掲載内容 ・災害復興に関するお知らせ ・市の財政状況 ・各種行政情報 ・石巻市職員の人事行政運営等のあらまし ・平成27年度施政方針 ・まちの話題 ・休日急患担当医 ・子育て支援情報 ・各種健診 ・文化スポーツ行事 ・各種事業の募集</p>						
成果		市の主要な施策や取組、各種行政情報などを、図や表を用い、よりわかりやすい紙面づくりを心掛け、15日号と併せて市民への適時の情報提供を行った。						
成果に係る評価		カラーページを取り入れて以後、市民から見やすいという評価を受けており、今後も、市民が求めている情報の把握に努め、より分かりやすく、より読みやすい紙面づくりに努める。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	20,000,000		19,945,440				19,945,440	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 節			()	
	6 目	企画費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業		新駅誘致関係費、基盤整備事業関係費、駅前広場整備事業費			
事業コード			事 業 名		新駅誘致及び関連施設整備事業			
目的及び事業内容		仙石線陸前赤井駅と蛇田駅間に新駅（石巻あゆみ野駅）を誘致する。また、併せて駅前広場等の関連施設の整備を進める。これらの事業を新蛇田南地区被災市街地復興土地区画整理事業と一体的に実施し、被災者のほか、周辺住民、通勤・通学者の交通手段の確保と当該地域の発展を図り、生活環境の向上に寄与する。						
取組実績		<p>新駅誘致に向け、ＪＲ、宮城県及び東松島市と協議を重ねてきた。また、関連施設として駅前広場検討業務（基本計画、基本設計）等を実施するとともに、平成25年10月の新駅基本調査設計の基本協定締結により、ＪＲで新駅設置基本調査設計を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年10月 ＪＲと新駅設置に関する基本協定締結 平成26年10月 ＪＲと新駅設置に関する詳細設計業務委託契約を締結した。 平成27年2月 国土交通省東北運輸局において新駅の設置が認可された。 						
成果		<p>新駅誘致に係る関係機関との協議により、以下のように新駅誘致及び新駅整備に係る成果が得られた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新駅誘致事業に伴い、ＪＲと新駅設置に関する基本協定を締結した。 2 新駅整備に伴い、ＪＲと新駅設置に関する詳細設計業務委託契約を締結した。 新駅設置に伴う詳細設計負担金 17,384,000円 3 国土交通省東北運輸局において新駅の設置が認可された。 						
成果に係る評価		ＪＲと新駅設置に関する基本協定を締結し、また、国から新駅の設置が認可されたことにより、新駅設置の実現に大きく前進した。平成27年度においては、平成28年3月の開業に向けてＪＲ及び関係機関と協議を進めていくこととする。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	32,400,000		17,384,000		5,794,000			11,590,000

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画																																												
	1 項	総務管理費		第 節																																														
	6 目	企画費		()																																														
実施計画掲載ページ			中 事 業	復興政策課共通事務費																																														
事業コード			事 業 名	がんばる石巻応援寄附関係事業																																														
目的及び事業内容		石巻市をふるさととして愛し、応援しようとする個人又は団体から寄せられる寄附金を活用し、笑顔と自然あふれる元気なまちをつくることを目的とする。 ふるさと納税者に対しては、寄附金額に応じて返礼品として特産品を提供する。																																																
取組実績		<p>1 震災以降特産品の贈与を中止していたが、産業振興と震災で失われた地場産品の販路拡大、さらには財源の確保という観点から特産品の贈与を再開した。(平成26年9月1日)</p> <p>2 ポータルサイトへの掲載、インターネットでの申請を実施し、申込者の増加を図った。 ・インターネットでの申込み・・・約94%</p> <p>3 クレジット決済を導入し、納付者の増加を図った。 ・クレジット・・・71.9% ・郵便局振込・・・24.2% ・銀行振込・・・3.1% ・現金・・・0.8%</p> <p>4 特産品の取扱等に関する事務の一部委託 ・委託先：石巻観光協会</p>																																																
成 果		<p>平成26年9月から特産品の贈与を再開するとともに、インターネットポータルサイトへの掲載や申込受付を開始し、併せてクレジットカードを導入した結果、17,000件を超える申込みがあり、寄附金額は3億円を超えることとなった。</p> <p>1 寄附金実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄附件数</td> <td>164件</td> <td>193件</td> <td>167件</td> <td>227件</td> <td>17,642件</td> </tr> <tr> <td>寄附金額</td> <td>9,290,000円</td> <td>32,221,889円</td> <td>14,186,369円</td> <td>25,520,807円</td> <td>316,818,248円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 人気特産品寄附金額別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>5千～1万円未満</th> <th>1万～3万円未満</th> <th>3万～5万円未満</th> <th>5万～10万円未満</th> <th>10万円以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 みなどの人気の3個セット</td> <td>マルイチ復興石巻たらこセット</td> <td>仙台牛 茂洋号 幻の鳥豚セット(ロース)</td> <td>仙台牛 茂洋号 ハイクラス</td> <td>石巻・旬の味覚 直行便</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 三陸海の幸詰め合わせ</td> <td>店長おすすめセット</td> <td>宮城海の幸まるごとお楽しみセット</td> <td>三陸 海の幸 至高セット『極み』</td> <td>仙台牛 茂洋号 プレミアム</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 さんま缶詰6缶セット</td> <td>岬焼かき産直セット</td> <td>みなどの魚卵セット(風呂敷包)</td> <td>石巻観光協会オリジナルセットD</td> <td>石巻・みなどのたらこ明太子魚卵が盛りだくさん</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	寄附件数	164件	193件	167件	227件	17,642件	寄附金額	9,290,000円	32,221,889円	14,186,369円	25,520,807円	316,818,248円		5千～1万円未満	1万～3万円未満	3万～5万円未満	5万～10万円未満	10万円以上	1 みなどの人気の3個セット	マルイチ復興石巻たらこセット	仙台牛 茂洋号 幻の鳥豚セット(ロース)	仙台牛 茂洋号 ハイクラス	石巻・旬の味覚 直行便		2 三陸海の幸詰め合わせ	店長おすすめセット	宮城海の幸まるごとお楽しみセット	三陸 海の幸 至高セット『極み』	仙台牛 茂洋号 プレミアム		3 さんま缶詰6缶セット	岬焼かき産直セット	みなどの魚卵セット(風呂敷包)	石巻観光協会オリジナルセットD	石巻・みなどのたらこ明太子魚卵が盛りだくさん	
区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度																																													
寄附件数	164件	193件	167件	227件	17,642件																																													
寄附金額	9,290,000円	32,221,889円	14,186,369円	25,520,807円	316,818,248円																																													
	5千～1万円未満	1万～3万円未満	3万～5万円未満	5万～10万円未満	10万円以上																																													
1 みなどの人気の3個セット	マルイチ復興石巻たらこセット	仙台牛 茂洋号 幻の鳥豚セット(ロース)	仙台牛 茂洋号 ハイクラス	石巻・旬の味覚 直行便																																														
2 三陸海の幸詰め合わせ	店長おすすめセット	宮城海の幸まるごとお楽しみセット	三陸 海の幸 至高セット『極み』	仙台牛 茂洋号 プレミアム																																														
3 さんま缶詰6缶セット	岬焼かき産直セット	みなどの魚卵セット(風呂敷包)	石巻観光協会オリジナルセットD	石巻・みなどのたらこ明太子魚卵が盛りだくさん																																														
成果に係る評価		インターネットによる寄附申込み、クレジットカード決済の導入及び特産品贈与の再開により、寄附者に対する利便性の向上が図られたとともに、魅力ある特産品を提供することで、寄附件数、寄附金額の大幅な増加に繋がった。 今後は、人気特産品の傾向を踏まえた特産品の入れ替えなどを行い寄附者の増加を図るとともに、地場産品の販路拡大を図っていく。																																																
(単位：円)																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	113,118,151	111,077,197					111,077,197																																											

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()	
	7 目	地域振興費		(2)	市民参加を促進する		()	
実施計画掲載ページ			P12	中 事 業	市民協働推進費			
事業コード		001-002-002-00016	事 業 名	地域まちづくり委員会事業				
目的及び事業内容		地域の活性化や地域の均衡ある発展を図るため、地域住民と行政が協働し、地域づくりを進められる仕組みとして、旧町単位に地域まちづくり委員会を設置し、まちづくりの推進や提言を行うことを目的とする。						
取組実績		<p>1 河北地域まちづくり委員会 (休止中)</p> <p>2 雄勝地域まちづくり委員会 (休止中)</p> <p>3 河南地域まちづくり委員会 (未開催)</p> <p>4 桃生地域まちづくり委員会 (休止中)</p> <p>5 北上地域まちづくり委員会 (5回開催) ・今後のまちづくり委員会の具体的な運営について ・北上小学校建設基本構想検討委員会について ・相川コミュニティ施設の建設について ・釜谷崎地区集団移転用地の引渡しについて ・各地区の事業(防災集団移転促進事業等)進捗状況について ・北上地域における復興の在り方について ・各地区・分科会からの報告・提案事項について ・にっこり地区のまちづくりにかかる分科会設置について ・まちづくり委員会各地区分科会の設置について ・各分科会の要望取りまとめについて ・第5期終了後のまちづくり組織について ・中心部まちづくりに係る市長提案について</p> <p>6 牡鹿地域まちづくり委員会 (休止中)</p>						
成 果		北上地域まちづくり委員会において、復興における進捗状況の確認や各分科会での活動報告、提案等が話し合わせ、地域のまちづくりを考える機会が設けられた。						
成果に係る評価		北上地域まちづくり委員会において、各分科会での要望が取りまとめられ、地域課題の分析や各地区のまちづくりについての意識の高揚が図られたが、休止中の地域まちづくり委員会を含めた全地域において、早急に開催へ向けた取り組みが必要である。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	1,442,000	582,370				500,000	82,370	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()		
	1 項	総務管理費		第 1 節	地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる		()		
	7 目	地域振興費		(1)	個性ある地域をつくる		()		
実施計画掲載ページ		P 95	中 事 業	市民協働推進費					
事業コード	006-001-001-00023	事 業 名	地域づくり基金助成事業						
目的及び事業内容	<p>一定の要件を満たす団体（構成員が5人以上・活動拠点が石巻市内・運営や組織に関する規約等を定めている・政治や宗教または営利目的でない）が行う市民と行政との協働のまちづくり事業（100%助成）や市全域のまちづくりに寄与する地域コミュニティ活性化事業（助成率70%）に対し、助成限度額30万円を支援する。</p>								
取 組 実 績	<p>助成申請団体は22団体（前日取消団体1団体を含む）あったが、公開プレゼンテーションによる厳正な審査の結果、15団体（条件付き交付決定団体1件を含む。）に助成した。</p> <p>1 新規助成団体数 5団体（本庁分4件、河北1件） 2 継続助成団体数 9団体（本庁分4件、河南1件、桃生3件、牡鹿1件） 3 再申請団体数 1団体（本庁分1件）</p> <p>計 助成団体数 15団体（本庁分9件、河北 1件、河南1件、桃生3件、牡鹿1件）</p>								
成 果	助成した15団体によりまちづくり事業等を実施したことで、地域コミュニティの活性化が図られた。								
		団体名	決算額		団体名	決算額			
	1	特定非営利活動法人ベビースマイル石巻	292,000円	9	水と緑の環境フォーラム・ものう	300,000円			
	2	NPO法人まちの寄り合い所・うめばたけ	160,000円	10	未来の石巻を創る中学生の応援委員会	139,000円			
	3	EMエコクラブみやぎ	300,000円	11	河南桃生商工会青年部	207,000円			
	4	石巻海さくら	232,000円	12	一般社団法人 りぶらす	300,000円			
	5	NPO法人石巻スポーツ振興サポートセンター	267,000円	13	河南鹿嶋ばやし保存会	300,000円			
	6	特定非営利活動法人石巻市体育協会	295,000円	14	あじ朗志組	300,000円			
	7	東京オリンピック・パラリンピック聖火リレー出発地・聖火台誘致委員会	300,000円	15	特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク	78,000円			
8	子どものための石巻市民会議	300,000円	実施事業15件	合 計	3,770,000円				
成果に係る評価	平成25年度の申請件数と比較すると9件の増加の中で公開プレゼンテーションを実施し、審査を行い交付決定がなされ、実施事業の質が高まっている。また、公開プレゼンテーションを通じて地域コミュニティの活性化に向けた意識高揚が図られ、事業の実施においては、継続し事業を実施している団体もあり、まちづくり活動が根付いてきているものと考えられる。								
(単位：円)									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	一般財源
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
	4,000,000	3,770,000			3,747,000			23,000	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																																						
	1 項	総務管理費		第 1 節	住民の自治力を強化する		()																																						
	7 目	地域振興費		(2)	公益的な市民活動を支援する		()																																						
実施計画掲載ページ		P 11	中 事 業	市民協働推進費																																									
事業コード	001-001-002-00675	事 業 名	集会所建設費補助事業																																										
目的及び事業内容	<p>【目的】市民と行政の協働のまちづくりの推進を図る。 【内容】集会所の新築事業、集会所の改築、増築及び改修事業、既存建物を集会所として利用するための取得事業、既存建物を集会所として利用するために要する改修事業、集会所の排水設備の公共下水道等への接続事業などに対する補助</p>																																												
取 組 実 績	<p>○集会所の改修事業（石巻市集会所建設費補助金） 【改修3件】 ・ 浜江場会館 改修内容：トイレ改修、浄化槽設置 ・ 貞山会館 改修内容：玄関改修、トイレ改修、公共下水道接続 ・ 表沢田集会所 改修内容：屋根塗装、トイレ改修、公共下水道接続</p>																																												
成 果	<p>地域コミュニティ活動の拠点である地区集会所の改修等に対して補助金を交付し支援することにより、住民の連携意識の醸成と自治意識の高揚が図られた。</p> <p>○石巻市集会所建設費等補助金 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>集会所名</th> <th>事業区分</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">浜江場会館</td> <td>改修</td> <td>4,125,000</td> <td>1,500,000</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>公共下水道接続</td> <td>1,304,071</td> <td>869,000</td> <td>2/3以内</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">貞山会館</td> <td>改修</td> <td>560,623</td> <td>280,000</td> <td>1/2以内</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,864,694</td> <td>1,149,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">表沢田集会所</td> <td>改修</td> <td>2,245,281</td> <td>1,496,000</td> <td>2/3以内</td> </tr> <tr> <td>公共下水道接続</td> <td>1,923,783</td> <td>961,000</td> <td>1/2以内</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,169,064</td> <td>2,457,000</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								集会所名	事業区分	事業費	補助金額	割合	浜江場会館	改修	4,125,000	1,500,000	上限	公共下水道接続	1,304,071	869,000	2/3以内	貞山会館	改修	560,623	280,000	1/2以内	計	1,864,694	1,149,000		表沢田集会所	改修	2,245,281	1,496,000	2/3以内	公共下水道接続	1,923,783	961,000	1/2以内	計	4,169,064	2,457,000		
	集会所名	事業区分	事業費	補助金額	割合																																								
浜江場会館	改修	4,125,000	1,500,000	上限																																									
	公共下水道接続	1,304,071	869,000	2/3以内																																									
貞山会館	改修	560,623	280,000	1/2以内																																									
	計	1,864,694	1,149,000																																										
表沢田集会所	改修	2,245,281	1,496,000	2/3以内																																									
	公共下水道接続	1,923,783	961,000	1/2以内																																									
計	4,169,064	2,457,000																																											
成果に係る評価	地区集会所については、地域住民が集まる場所として地域コミュニティ活動の拠点であることから、協働のまちづくりを推進する上でも重要な施設であることととらえ、新築や改修等に対する補助を継続していく必要がある。																																												
(単位：円)																																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	一般財源																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																							
	5,106,000	5,106,000						5,106,000																																					

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()																			
	1 項	総務管理費		第 節			()																			
	7 目	地域振興費		()			()																			
実施計画掲載ページ			中 事 業	コミュニティ施設関係費																						
事業コード			事 業 名	コミュニティ施設管理運営事業																						
目的及び事業内容		コミュニティ施設を広く利用提供することで、地域住民の連帯意識を高め、住民の福祉と健康の増進に寄与し、地域のコミュニティづくりの推進を図る。																								
取 組 実 績		<p>1 向陽地区コミュニティセンター</p> <table border="1"> <tr><td>区 分</td><td>利用者数</td></tr> <tr><td>年間利用実績</td><td>43,970人</td></tr> </table> <p>2 鹿妻南コミュニティハウス</p> <table border="1"> <tr><td>区 分</td><td>利用者数</td></tr> <tr><td>年間利用実績</td><td>10,225人</td></tr> </table> <p>【主な利用内容】 町内会活動、子育てサークル、スポーツ教室、文化活動、健康教室、スポーツ少年団活動、ボランティア活動ほか</p>							区 分	利用者数	年間利用実績	43,970人	区 分	利用者数	年間利用実績	10,225人										
区 分	利用者数																									
年間利用実績	43,970人																									
区 分	利用者数																									
年間利用実績	10,225人																									
成 果		<p>施設管理人を配置し、適正管理に努めた。利用状況については、震災の被害により社会教育施設や集会所等のコミュニティ施設が減少したことから、昨年よりも多くの市民に利用してもらうことができた。利用者については、周辺地域住民の地域づくり活動や地域以外からも利用者が多く、広く様々な活動を実施する場として提供することができた。</p> <p>【使用実績】</p> <p>向陽地区コミュニティセンター</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>件数</td><td>使用料</td></tr> <tr><td>H25</td><td>1,166件</td><td>2,922,040円</td></tr> <tr><td>H26</td><td>1,606件</td><td>3,721,808円</td></tr> </table> <p>鹿妻南コミュニティハウス</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>件数</td><td>使用料</td></tr> <tr><td>H25</td><td>233件</td><td>0円</td></tr> <tr><td>H26</td><td>284件</td><td>0円</td></tr> </table> <p>※ 鹿妻南コミュニティハウスは、平成27年3月31日までの期間、東日本大震災の復興に資するために、地域のコミュニティ再生を目的として市民又は市内に活動拠点を置く団体が、地域のコミュニティづくりのために主催し、又は主体となって利用する場合は、使用料を100%免除とした。</p>							区分	件数	使用料	H25	1,166件	2,922,040円	H26	1,606件	3,721,808円	区分	件数	使用料	H25	233件	0円	H26	284件	0円
区分	件数	使用料																								
H25	1,166件	2,922,040円																								
H26	1,606件	3,721,808円																								
区分	件数	使用料																								
H25	233件	0円																								
H26	284件	0円																								
成果に係る評価		周辺住民の地域づくり活動として場所を提供できたことにより、地域コミュニティの醸成が図られ、特に鹿妻地区においては震災により失われた地域住民のコミュニティ形成の一助になったものと考えられる。																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	8,868,000	8,272,666			8,180,182	92,484																				

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()																																	
	1 項	総務管理費		第 節			()																																	
	7 目	地域振興費		()			()																																	
実施計画掲載ページ			中 事 業	市民協働推進費																																				
事業コード			事 業 名	NPO支援オフィス支援推進事業																																				
目的及び事業内容		<p>市民公益活動団体の活動支援の拠点として「NPO支援オフィス」を開設し、市民公益活動団体、市民、事業者及び市の連携・交流の場所を提供することにより石巻市内で活動するNPOの育成・支援を図る。</p> <p>1 NPO支援オフィスの管理運営 2 石巻市市民公益活動団体の登録 3 NPOに関する相談対応 4 石巻市NPO支援オフィス通信「月刊んぼん舗」の発行 5 ホームページの管理・更新</p>																																						
取 組 実 績		<p>1 NPO支援オフィスの管理運営等 NPO支援を目的として活動している特定非営利活動法人いしのみまきNPOセンターを指定管理者とし、多様化する利用者の様々なニーズに、より効果的かつ効率的に対応した。</p> <p>○一般利用者向け (1) 機器利用サービス・・・印刷機・コピー機・裁断機・パソコン等の貸出し (2) 相談・問合せ対応・・・NPOについての相談・問い合わせ等に関する対応 (3) 広報紙作成・・・「通信んぼん舗」作成 毎月1回 年間12号を発行 (4) 広報パンフレット作製・・・オフィス開館時間・休館日・HPアドレス・登録概要等掲載 (5) 図書資料閲覧 (6) 情報提供・・・ホームページにオフィス及び登録団体等の紹介</p> <p>○登録団体向け (1) 会議室・ロッカー・メールボックスの貸し出し (2) 運営に係る相談 (3) 補助金等の案内</p> <p>2 石巻市市民公益活動団体の登録</p>																																						
成 果		<p>NPO支援オフィス利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>来館者数</th> <th>会議室 利用数</th> <th>相談件数</th> <th>図 書 閲覧者数</th> <th>パソコン 利用者数</th> <th>機 器 利用者数</th> <th>掲示物 依頼数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25実績</td> <td>2,872人</td> <td>163件</td> <td>129件</td> <td>2人</td> <td>75人</td> <td>421人</td> <td>32件</td> </tr> <tr> <td>H26実績</td> <td>3,050人</td> <td>169件</td> <td>155件</td> <td>17人</td> <td>46人</td> <td>452人</td> <td>45件</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>178人増</td> <td>6件増</td> <td>26件増</td> <td>15人増</td> <td>29人減</td> <td>31人増</td> <td>13件増</td> </tr> </tbody> </table> <p>・石巻市市民公益活動団体登録数 122団体 ・メールボックス利用団体数 10団体 ・貸しロッカー利用団体数 13団体</p> <p>NPO支援オフィスの利用者が、前年度よりも増加し、市民公益活動団体登録数も14団体増えた。</p>							区分	来館者数	会議室 利用数	相談件数	図 書 閲覧者数	パソコン 利用者数	機 器 利用者数	掲示物 依頼数	H25実績	2,872人	163件	129件	2人	75人	421人	32件	H26実績	3,050人	169件	155件	17人	46人	452人	45件	前年度比	178人増	6件増	26件増	15人増	29人減	31人増	13件増
区分	来館者数	会議室 利用数	相談件数	図 書 閲覧者数	パソコン 利用者数	機 器 利用者数	掲示物 依頼数																																	
H25実績	2,872人	163件	129件	2人	75人	421人	32件																																	
H26実績	3,050人	169件	155件	17人	46人	452人	45件																																	
前年度比	178人増	6件増	26件増	15人増	29人減	31人増	13件増																																	
成果に係る評価		平成25年度より、NPO支援オフィスへの来館者が増加したことは、NPO支援オフィスの存在が広く認知され、中間支援組織としての役割が浸透されてきていると考えられる。 NPO支援オフィスは、利用者のニーズを常に把握するため、定期的に利用者からのヒヤリング等を行い、NPOと市民、事業者、行政の連携・交流場所として、利用者へのサービス向上に努めていることにより、利用者の増加となり、石巻市市民公益活動団体登録数の増加につながっているものと考えられる。																																						
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	5,658,000	5,658,000			5,600,000	58,000																																		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()													
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()													
	7 目	地域振興費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()													
実施計画掲載ページ		P 29	中 事 業	国内姉妹都市・友好都市交流推進費																
事業コード	002-003-001-00020	事 業 名	河北町との友好都市交流事業																	
目的及び事業内容	国内において、唯一同町名であった「山形県河北町」との相互交流を促進し、教育・文化・福祉・産業等の振興を図り信頼と友情を深め、もって両町の発展に寄与する事を目的に、平成13年1月に旧河北町と山形県河北町は友好都市の盟約を締結した。平成17年4月、新石巻市の誕生により平成18年1月30日に従来のつながりを存続するため新たに友好都市盟約を締結した。																			
取組実績	<p>石巻市民と山形県河北町民の友好協力関係を促進し、両市町の特性を活かした交流と活性化を推進するため、下記の事業を実施した。</p> <p>1 さくらんぼ祭り招待 ○日程 平成26年6月29日(日) ○場所 山形県河北町内 ○内容 山形県河北町の費用負担をもって、震災影響により仮設住宅生活をしている市民をさくらんぼ祭りへ招待していただいた。(40人参加)</p> <p>2 どんがまつり招待事業 ○日程 平成26年9月14日(日) ○場所 山形県河北町 谷地八幡神社・紅花資料館ほか ○内容 石巻市民が招待され、交流を図った。(41人参加)</p> <p>3 山形県河北町 町制60周年記念式典 ○日程 平成26年10月1日(水) ○場所 山形県河北町 総合交流センター ○内容 記念式典に招待され、交流を図った。</p>																			
成 果	<p>平成25年度と同様に全面的な河北町による復興支援事業として仮設住宅の入居者が招待され、被災市民との交流が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各交流事業への参加人数</td> <td>58人</td> <td>震災により中止</td> <td>244人</td> <td>約900人</td> <td>81人</td> </tr> </tbody> </table>								実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	各交流事業への参加人数	58人	震災により中止	244人	約900人	81人
実施年度	H22	H23	H24	H25	H26															
各交流事業への参加人数	58人	震災により中止	244人	約900人	81人															
成果に係る評価	震災支援交流を通じて、友好関係の絆が深まり、両市町の特性を活かした交流事業を推進することができた。																			
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	23,036	23,036				23,036														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()													
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()													
	7 目	地域振興費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()													
実施計画掲載ページ		P 29	中 事 業	国内姉妹都市・友好都市交流推進費																
事業コード	002-003-001-00019	事 業 名	ひたちなか市との姉妹都市交流事業																	
目的及び事業内容	石巻市民と茨城県ひたちなか市民の友好協力関係を図ることを目的に、昭和41年11月3日に姉妹都市の盟約を締結した。新石巻市の誕生により平成18年2月13日に新たに姉妹都市の盟約を締結し、両市の特性を活かした交流と地域の活性化を推進するため、相互を訪問して姉妹都市交流を行う。																			
取組実績	<p>姉妹都市としての交流を図り、地域の活性化を図るため下記の事業を実施した。</p> <p>1 ひたちなか市誕生20周年記念式典 ○日程 平成26年11月1日(土) ○場所 茨城県ひたちなか市文化会館 ○内容 ひたちなか市の20周年記念式典に出席し、交流を図った。</p> <p>2 石巻市・ひたちなか市姉妹都市交流定期交流会 ○日程 平成27年2月7日(土)~8(日) ○場所 石巻市網地島 ○内容 被災状況の視察及び石巻市の特徴的な地域資源である離島(網地島)の島の暮らし、産業、食材、食事などのPR・体験を通し、地域固有の資源を活かした地域づくり・地域おこしをテーマとしながら、ひたちなか市と島民の交流を図った。(38人参加)</p>																			
成 果	<p>平成26年度は、ひたちなか市から漁協婦人部、青年会議所、旅館組合関係者に参加いただき、「地域づくり・地域おこし」をテーマに活発な意見交換や島内視察を行い、地域資源を生かした交流が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各交流事業への参加人数</td> <td>27人</td> <td>—</td> <td>39人</td> <td>—</td> <td>38人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※隔年実施</p>								実施年度	H22	H23	H24	H25	H26	各交流事業への参加人数	27人	—	39人	—	38人
実施年度	H22	H23	H24	H25	H26															
各交流事業への参加人数	27人	—	39人	—	38人															
成果に係る評価	両市の連携が強まり、より一層の友好関係を深めることができた。網地島での開催により、石巻市の特徴的な地域資源を十分にPRでき、継続的な姉妹都市交流を行う上での好事例となった。																			
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	702,998	702,998				702,998														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																
	8 目	離島振興費		(2)	離島の交通手段を確保する		()																
実施計画掲載ページ		P104	中 事 業	離島振興対策費																			
事業コード		006-004-002-00015	事 業 名	離島航路維持事業																			
目的及び事業内容		離島住民の生活を支える離島航路の安定的な運航に資するため、航路事業者への補助及び資金貸し付けにより支援する。 また、離島の夜間救急患者搬送に対応するため、船舶の待機に対する支援を実施する。																					
取組実績		1 離島航路維持費補助金の交付 離島航路事業の安定的な運航に資するため、国、県と協議し、離島航路事業者へ補助金を交付した。 2 離島航路事業経営安定資金貸付の実施 航路事業者が事業に必要とする資金の融通を円滑にすることにより、その経営の安定に資するため、事業資金の貸付を実施した。 3 田代島緊急医療対策補助金の交付 夜間における救急患者の搬送を行うための船舶及び船員の待機に対する支援を行った。 4 離島住民運賃割引の実施に対する補助金の交付 島民に対する運賃割引実施に伴う運賃収入欠損分について支援を行った。																					
成 果		高齢化や過疎化の進行、東日本大震災の影響などから輸送人員が減少しており、航路事業者の経営状況は厳しいものとなっているが、航路確保における施策等を講じたことで、安定した航路運航が図られた。 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> <tr> <td>年間運航回数</td> <td>2,817回</td> <td>3,724回</td> <td>4,730回</td> <td>5,416回</td> </tr> <tr> <td>年間乗客者数</td> <td>35,639人</td> <td>41,158人</td> <td>61,949人</td> <td>68,578人</td> </tr> </table>							主な指標項目	H23	H24	H25	H26	年間運航回数	2,817回	3,724回	4,730回	5,416回	年間乗客者数	35,639人	41,158人	61,949人	68,578人
主な指標項目	H23	H24	H25	H26																			
年間運航回数	2,817回	3,724回	4,730回	5,416回																			
年間乗客者数	35,639人	41,158人	61,949人	68,578人																			
成果に係る評価		東日本大震災以降、離島住民のほか航路利用者の多くは災害復旧工事関連によるものだったが、平成25年に再開した網地白浜海水浴場や田代島の猫をターゲットとした観光客が増加しており、震災前の水準には及ばないものの航路利用者は着実に回復してきている。 離島航路事業は、離島住民の生活を支える重要な生活基盤であり、安定した運航が必要であることから、今後も島民、事業者、行政の三者で更なる経営改善と利用促進に努めていくとともに、事業者所有の船舶についても老朽化が著しいため、引き続き新造船導入に向けた具体的な協議を進めていく。																					
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	60,125,000	59,288,300	1,559,328		51,000,000	6,728,972																	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																																																												
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																																																												
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する		()																																																												
実施計画掲載ページ		P103	中 事 業	地域交通対策関係費																																																															
事業コード		006-004-001-00011	事 業 名	住民バス運行費補助事業																																																															
目的及び事業内容		高齢化の進行やバス路線の廃止に対応し、移動手段を持たない高齢者等が、住み慣れた地域で日常生活上の外出・移動を可能な限り行えるよう、地域住民の代表者が運営主体となって運行する住民バス及び乗合タクシーの運行事業に対して運行費を補助し、支援を行う。																																																																	
取組実績		市民の移動手段を確保するため、市内9地区の住民バス及び乗合タクシー事業の運行主体である運行協議会に対し運行費を補助した。 平成26年度運行協議会別補助の状況 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th>名称</th> <th>運行主体</th> <th>補助金額</th> </tr> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>河北地区住民バス運行協議会</td> <td>8,131,256円</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>雄勝地区運行協議会</td> <td>19,921,400円</td> </tr> <tr> <td>河南地区乗合タクシー</td> <td>河南地区運行協議会</td> <td>7,053,934円</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス</td> <td>桃生地区運行協議会</td> <td>12,062,082円</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>北上地区住民バス等運行協議会</td> <td>7,079,626円</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>稲井地域乗合タクシー運行協議会</td> <td>6,557,084円</td> </tr> <tr> <td>萩浜地区住民バス</td> <td>萩浜地区住民バス運行協議会</td> <td>11,143,531円</td> </tr> <tr> <td>山の手地区乗合タクシー</td> <td>山の手地区乗合タクシー運行協議会</td> <td>5,161,342円</td> </tr> <tr> <td>水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー</td> <td>水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会</td> <td>3,200,757円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>80,311,012円</td> </tr> </table>							名称	運行主体	補助金額	河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	8,131,256円	雄勝地区住民バス	雄勝地区運行協議会	19,921,400円	河南地区乗合タクシー	河南地区運行協議会	7,053,934円	桃生地区住民バス	桃生地区運行協議会	12,062,082円	北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	7,079,626円	稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	6,557,084円	萩浜地区住民バス	萩浜地区住民バス運行協議会	11,143,531円	山の手地区乗合タクシー	山の手地区乗合タクシー運行協議会	5,161,342円	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会	3,200,757円	合計		80,311,012円																										
名称	運行主体	補助金額																																																																	
河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	8,131,256円																																																																	
雄勝地区住民バス	雄勝地区運行協議会	19,921,400円																																																																	
河南地区乗合タクシー	河南地区運行協議会	7,053,934円																																																																	
桃生地区住民バス	桃生地区運行協議会	12,062,082円																																																																	
北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	7,079,626円																																																																	
稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	6,557,084円																																																																	
萩浜地区住民バス	萩浜地区住民バス運行協議会	11,143,531円																																																																	
山の手地区乗合タクシー	山の手地区乗合タクシー運行協議会	5,161,342円																																																																	
水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会	3,200,757円																																																																	
合計		80,311,012円																																																																	
成 果		移動手段を持たない高齢者等の利用者が増えており、地域住民の日常生活上の外出・移動手段の確保が図られた。 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">H25</th> <th colspan="2">H26</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>便数</th> </tr> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>4,688人</td> <td>1,640便</td> <td>5,504人</td> <td>1,714便</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>11,269人</td> <td>8,189便</td> <td>10,859人</td> <td>7,879便</td> </tr> <tr> <td>河南地区乗合タクシー</td> <td>4,581人</td> <td>2,850便</td> <td>4,796人</td> <td>3,759便</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス</td> <td>3,108人</td> <td>2,300便</td> <td>4,457人</td> <td>2,312便</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>8,686人</td> <td>1,446便</td> <td>10,447人</td> <td>1,452便</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>10,890人</td> <td>4,404便</td> <td>10,302人</td> <td>4,426便</td> </tr> <tr> <td>萩浜地区住民バス</td> <td>6,218人</td> <td>1,436便</td> <td>6,372人</td> <td>1,456便</td> </tr> <tr> <td>山の手地区乗合タクシー</td> <td>11,112人</td> <td>6,073便</td> <td>10,405人</td> <td>5,991便</td> </tr> <tr> <td>水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー</td> <td>5,710人</td> <td>3,468便</td> <td>6,759人</td> <td>3,873便</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>66,262人</td> <td>31,806便</td> <td>69,901人</td> <td>32,862便</td> </tr> </table>							名称	H25		H26		利用者数	便数	利用者数	便数	河北地区住民バス	4,688人	1,640便	5,504人	1,714便	雄勝地区住民バス	11,269人	8,189便	10,859人	7,879便	河南地区乗合タクシー	4,581人	2,850便	4,796人	3,759便	桃生地区住民バス	3,108人	2,300便	4,457人	2,312便	北上地区住民バス	8,686人	1,446便	10,447人	1,452便	稲井地域乗合タクシー	10,890人	4,404便	10,302人	4,426便	萩浜地区住民バス	6,218人	1,436便	6,372人	1,456便	山の手地区乗合タクシー	11,112人	6,073便	10,405人	5,991便	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	5,710人	3,468便	6,759人	3,873便	合計	66,262人	31,806便	69,901人	32,862便
名称	H25		H26																																																																
	利用者数	便数	利用者数	便数																																																															
河北地区住民バス	4,688人	1,640便	5,504人	1,714便																																																															
雄勝地区住民バス	11,269人	8,189便	10,859人	7,879便																																																															
河南地区乗合タクシー	4,581人	2,850便	4,796人	3,759便																																																															
桃生地区住民バス	3,108人	2,300便	4,457人	2,312便																																																															
北上地区住民バス	8,686人	1,446便	10,447人	1,452便																																																															
稲井地域乗合タクシー	10,890人	4,404便	10,302人	4,426便																																																															
萩浜地区住民バス	6,218人	1,436便	6,372人	1,456便																																																															
山の手地区乗合タクシー	11,112人	6,073便	10,405人	5,991便																																																															
水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	5,710人	3,468便	6,759人	3,873便																																																															
合計	66,262人	31,806便	69,901人	32,862便																																																															
成果に係る評価		被災者支援を目的とした低廉な運賃での運行を継続し、被災者の負担軽減及び利便性の向上が図られているが、地域住民の足として今後も継続して運行する必要があることから、防災集団移転や復興公営住宅建設に対応した公共交通機関として、適切な時期に路線変更等を行う必要がある。																																																																	
(単位：円)																																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																													
	82,962,486	80,311,012	30,965,804			49,345,208																																																													

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																					
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																					
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する		()																					
実施計画掲載ページ		P 103	中 事 業	社鹿地区市民バス運行事業費																								
事業コード	006-004-001-00012	事 業 名	社鹿地区市民バス運行事業																									
目的及び事業内容	高齢化の進行に対応し、移動手段を持たない高齢者等が住み慣れた地域で日常生活上の外出・移動を可能な限り行えるよう網地島を含めた社鹿地区で市民バスの運行を実施する。 また、小学生の安全な通学手段を確保するために市民バスの活用を図る。																											
取組実績	下記路線において、市民バスの運行を実施した。																											
	<p>運行概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th colspan="3">運行状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄磯～社鹿総合支所線</td> <td>平日 9便/日</td> <td>土・日・祝日</td> <td>・年末年始は原則運休</td> </tr> <tr> <td>泊～福祉パーク線</td> <td>平日 7便/日</td> <td>土・日・祝日</td> <td>・年末年始は原則運休</td> </tr> <tr> <td>新山・泊～大原線</td> <td>平日 5便/日</td> <td>土・日・祝日</td> <td>・年末年始は原則運休</td> </tr> <tr> <td>網地島線</td> <td>4便/日</td> <td>年末年始は運休</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								路線名	運行状況			寄磯～社鹿総合支所線	平日 9便/日	土・日・祝日	・年末年始は原則運休	泊～福祉パーク線	平日 7便/日	土・日・祝日	・年末年始は原則運休	新山・泊～大原線	平日 5便/日	土・日・祝日	・年末年始は原則運休	網地島線	4便/日	年末年始は運休	
路線名	運行状況																											
寄磯～社鹿総合支所線	平日 9便/日	土・日・祝日	・年末年始は原則運休																									
泊～福祉パーク線	平日 7便/日	土・日・祝日	・年末年始は原則運休																									
新山・泊～大原線	平日 5便/日	土・日・祝日	・年末年始は原則運休																									
網地島線	4便/日	年末年始は運休																										
成 果	<p>市民バスの運行により、高齢者を中心とした地域住民の移動手段が確保され、日常生活上の外出・移動支援が図られるとともに、小学生の安全な通学手段として活用され、スクールバスとしての機能も発揮できた。</p> <p>市民バス運行実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般利用</td> <td>16,452人</td> <td>15,789人</td> <td>17,827人</td> </tr> <tr> <td>教育目的利用</td> <td>14,909人</td> <td>11,520人</td> <td>9,704人</td> </tr> <tr> <td>利用者数合計</td> <td>31,361人</td> <td>27,309人</td> <td>27,531人</td> </tr> <tr> <td>運行便数</td> <td>6,417便</td> <td>6,627便</td> <td>6,697便</td> </tr> </tbody> </table>									H24	H25	H26	一般利用	16,452人	15,789人	17,827人	教育目的利用	14,909人	11,520人	9,704人	利用者数合計	31,361人	27,309人	27,531人	運行便数	6,417便	6,627便	6,697便
	H24	H25	H26																									
一般利用	16,452人	15,789人	17,827人																									
教育目的利用	14,909人	11,520人	9,704人																									
利用者数合計	31,361人	27,309人	27,531人																									
運行便数	6,417便	6,627便	6,697便																									
成果に係る評価	<p>震災以降、一般利用者は減少傾向にあったが、平成26年度は増加しており、高齢者を中心とした通院・買い物の移動手段として、これまで以上に活用され、福祉の増進及び生活環境の向上に寄与できた。</p> <p>また、震災後は、ほとんどの小学生がスクールバスの利用を継続してきたが、復興状況の進行に伴い、一部の学校では、徒歩通学に切り替えたところもあり、利用者が減少している。</p> <p>しかし、今後本格化する復興事業に伴い、大型車等が増加するため、当分の間、通学時の児童・生徒の安全確保に努める必要がある。</p>																											
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	28,658,000	26,612,639	401,000		24,353,392	1,858,247																						

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																																																	
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																																																	
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する		()																																																	
実施計画掲載ページ		P 103	中 事 業	地域交通対策関係費																																																				
事業コード	006-004-001-00010	事 業 名	路線バス運行維持対策補助事業																																																					
目的及び事業内容	<p>自家用車等の移動手段を持たない市民の通院、通学、買い物等の交通手段を確保するため、路線バスの運行主体に対し、運行費を補助する。</p> <p>また、国庫補助対象路線については、国、県と協調補助を行う。</p>																																																							
取組実績	<p>市内各エリアを結ぶ幹線バス路線及びエリア内を運行するバス路線の運行主体に対して運行費を補助した。</p> <p>平成26年度路線別補助の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>系統数</th> <th>補助の別</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女川線</td> <td>1</td> <td>国庫補助路線</td> <td>129,000円</td> </tr> <tr> <td>鮎川線</td> <td>1</td> <td>国庫補助路線</td> <td>9,280,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻専修大学線</td> <td>2</td> <td>国庫補助路線、市単独補助路線</td> <td>9,772,803円</td> </tr> <tr> <td>石巻免許センター線</td> <td>1</td> <td>国庫補助路線</td> <td>940円</td> </tr> <tr> <td>三陸線</td> <td>1</td> <td>国庫補助路線</td> <td>9,246,942円</td> </tr> <tr> <td>河南線</td> <td>2</td> <td>国庫補助路線、事業者自主運行路線</td> <td>3,234,479円</td> </tr> <tr> <td>石巻市内線</td> <td>1</td> <td>市単独補助路線</td> <td>2,177,000円</td> </tr> <tr> <td>日赤・渡波線</td> <td>3</td> <td>市単独補助路線、事業者自主運行路線</td> <td>1,979,000円</td> </tr> <tr> <td>中里線</td> <td>1</td> <td>市単独補助路線</td> <td>5,017,000円</td> </tr> <tr> <td>渡波線</td> <td>1</td> <td>市単独補助路線</td> <td>4,485,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>45,322,164円</td> </tr> </tbody> </table>								路線名	系統数	補助の別	補助金額	女川線	1	国庫補助路線	129,000円	鮎川線	1	国庫補助路線	9,280,000円	石巻専修大学線	2	国庫補助路線、市単独補助路線	9,772,803円	石巻免許センター線	1	国庫補助路線	940円	三陸線	1	国庫補助路線	9,246,942円	河南線	2	国庫補助路線、事業者自主運行路線	3,234,479円	石巻市内線	1	市単独補助路線	2,177,000円	日赤・渡波線	3	市単独補助路線、事業者自主運行路線	1,979,000円	中里線	1	市単独補助路線	5,017,000円	渡波線	1	市単独補助路線	4,485,000円	合計			45,322,164円
	路線名	系統数	補助の別	補助金額																																																				
女川線	1	国庫補助路線	129,000円																																																					
鮎川線	1	国庫補助路線	9,280,000円																																																					
石巻専修大学線	2	国庫補助路線、市単独補助路線	9,772,803円																																																					
石巻免許センター線	1	国庫補助路線	940円																																																					
三陸線	1	国庫補助路線	9,246,942円																																																					
河南線	2	国庫補助路線、事業者自主運行路線	3,234,479円																																																					
石巻市内線	1	市単独補助路線	2,177,000円																																																					
日赤・渡波線	3	市単独補助路線、事業者自主運行路線	1,979,000円																																																					
中里線	1	市単独補助路線	5,017,000円																																																					
渡波線	1	市単独補助路線	4,485,000円																																																					
合計			45,322,164円																																																					
成 果	<p>運賃収入が増加している路線もあるが、全体的には依然として利用者減の影響が深刻であることから、路線バスの運行主体に運行費を補助することにより、安定した路線バスの運行が可能となり、高齢者等の交通手段が確保された。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線数</td> <td>10路線14系統</td> <td>10路線14系統</td> <td>10路線14系統</td> </tr> <tr> <td>うち国庫補助対象路線数</td> <td>6路線6系統</td> <td>6路線6系統</td> <td>6路線6系統</td> </tr> </tbody> </table>								年度	H24	H25	H26	路線数	10路線14系統	10路線14系統	10路線14系統	うち国庫補助対象路線数	6路線6系統	6路線6系統	6路線6系統																																				
年度	H24	H25	H26																																																					
路線数	10路線14系統	10路線14系統	10路線14系統																																																					
うち国庫補助対象路線数	6路線6系統	6路線6系統	6路線6系統																																																					
成果に係る評価	<p>沿岸部を運行する路線を中心に乗車率が低下しているが、いずれの路線も地域にとって欠かせない路線であり、路線維持が必要である。</p> <p>適切な路線維持と乗車率向上を図るため、震災による居住エリアの変化に対応した路線再編が必要不可欠であることから、有識者やバス事業者とともに路線再編について具体的な協議を実施していく。</p>																																																							
(単位：円)																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
	45,322,164	45,322,164			19,005,000	26,317,164																																																		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																								
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()																								
	10 目	男女共同参画推進費		(3)	男女共同参画社会を構築する		()																								
実施計画掲載ページ		P 12	中 事 業	男女共同参画推進費																											
事業コード		001-002-003-00017	事 業 名	男女共同参画推進事業																											
目的及び事業内容		男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」の実現のため、男女共同参画啓発講演会や各種イベント、女性人材育成事業等を実施し、男女共同参画に関する理解や認識を深めるとともに、石巻市男女共同参画基本計画（第2次）の進行管理を行う。																													
取 組 実 績		<p>1 石巻市男女共同参画基本計画（第2次計画期間：H23～H28）の進行管理及び中期最重要課題の設定を行い、各種事業に積極的に取り組んだ。</p> <p>2 男女共同参画啓発講演会・各種イベントの開催 男女共同参画社会の啓発に向け、講演会・セミナー等を開催した。 (1) 高校生のための人権教室（平成26年7月15日、7月17日：市女高・市女商） (2) 男女共創セミナー「薄明りの人物・パパの子育て参加」（平成27年2月15日） (3) 市職員研修「女性が輝く社会の実現に向けて」（平成26年6月2日、平成26年11月26日）</p> <p>3 女性人材育成事業の実施 女性が社会に参画し活躍できるよう、能力の育成・向上を図るためのセミナー等を開催した。 (1) 女性人材育成セミナー「めざせ!パワフルHAPPYウーマン」（平成26年9月～11月 全6回） (2) 女性の起業セミナー「自分とお客様の幸せのために!」（平成26年11月16日） (3) おんなの井戸端会議Ⅲ「女性が持つ力を防災に活かす」（平成27年2月21日） (4) 女性のステップアップ講座「コーチングについて」（平成27年3月7日） (5) 自立した輝く女性の支援講座「女性が輝く。石巻が輝く。」（平成26年4月～9月 全10回）</p> <p>4 男女共同参画啓発広報事業の実施 男女共同参画週間（6/23～6/29）に、DV相談窓口のPR及びパネル展等の啓発事業を実施した。</p> <p>5 DV被害者等サポート講座及び女性のための面接相談（毎月第1・3水曜日）を県と共催で実施した。</p>																													
成 果		<p>女性人材育成事業の実施により、セミナー参加者を女性人材リストへ登録し、人材リストの充実を図った。また、各課へリスト登録女性を紹介し、審議会委員における女性比率の向上に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">成果指標：審議会等の女性委員の割合</th> <th rowspan="2">女性人材リスト登録者数</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> <th>達成率等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>40.0%</td> <td>24.3%</td> <td>60.8%</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>40.0%</td> <td>25.1%</td> <td>62.8%</td> <td>97人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>40.0%</td> <td>25.5%</td> <td>63.8%</td> <td>120人</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標：審議会等の女性委員の割合			女性人材リスト登録者数	目標値	実績等	達成率等	H24	40.0%	24.3%	60.8%	80人	H25	40.0%	25.1%	62.8%	97人	H26	40.0%	25.5%	63.8%	120人
区分	成果指標：審議会等の女性委員の割合			女性人材リスト登録者数																											
	目標値	実績等	達成率等																												
H24	40.0%	24.3%	60.8%	80人																											
H25	40.0%	25.1%	62.8%	97人																											
H26	40.0%	25.5%	63.8%	120人																											
成果に係る評価		<p>市民一人ひとりが性別によって差別されない平等な存在として、人権が尊重される社会の実現を目指すため、様々な啓発を行ってきたが、女性リーダーを育成するための各種セミナー等を実施したこと、女性人材リストへの登録者数の増加に繋がった。</p> <p>また、震災復興への政策や方針決定過程に、性別の格差のない男女が関わることは必然で、全ての市民が暮らしやすい地域づくりの実現は、長期にわたる被災後の窮屈な生活による心理的ストレス等のフォローにも繋がることから、復興の担い手である若者や女性の社会参画をさらに推進するよう努めていく必要がある。</p>																													
（単位：円）																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	1,309,000	858,288	300,569		500,000	57,719																									

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	11 目	国際交流費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P 29	小 事 業	国際交流推進費				
事業コード		002-003-001-00018	事 業 名	温州市との友好都市交流事業				
目的及び事業内容		日中両国政府の共同声明の原則と日中平和友好条約の精神に基づき、石巻市民と温州市民間の友好往来の増進と相互協力を求めるとともに、両市間の経済、文化、教育など幅広い分野において交流を行い、両市の繁栄と友好協力を促進する。						
取 組 実 績		<p>友好都市である中国浙江省温州市と交流を図り、下記の事業を実施した。</p> <p>1. 温州市民友好訪日団 ○日程 平成26年4月27日(日)～29日(火) 2泊3日 ○場所 石巻市 ○内容 友好都市締結30周年を記念し、温州市民友好訪日団一行19人が来石。市長表敬訪問、被災地視察、スポーツ交流を行った。</p> <p>2. 温州市政府代表团 ○日程 平成26年10月30日(木)～11月1日(土) 2泊3日 ○場所 石巻市 ○内容 友好都市締結30周年を記念し、温州市政府代表团一行7人が来石。市長表敬訪問、被災地視察を行った。また震災当時、避難所を開設し温州市研修生8名を受入していた法山寺住職へ挨拶に伺った。</p> <p>3. 石巻市民友好訪問団の訪中 ○日程 平成27年3月4日(水)～8日(日) 4泊5日 ○場所 中国(温州市・杭州市・上海市) ○内容 温州市人民政府及び浙江省対外友好協会を表敬訪問し、温州大学を視察後、体育・文化・観光関係者と懇談を行った。</p>						
成 果		<p>友好都市締結から30年を迎えた節目の年であったが、本市が復興途中であった事などの関係から市政府代表団の訪問は行わなかった。しかし、両市民の友好訪問団による表敬訪問やスポーツ交流が行われ、今後の友好関係継続が確認された。</p> <p>また、石巻市民の友好訪問団によるスポーツ、文化、観光の各分野による交流が行われ、友好関係が深められた。</p>						
成果に係る評価		<p>温州市の方々との友好関係の理解と友情が深められ、今後の相互間における経済、文化、教育などの交流や協力の促進が図られた。</p> <p>特に、スポーツ交流では、平成27年6月に開催のスポーツイベントへの招待も協議されるなど具体的な交流の進展が見られた。</p>						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	1,068,061	1,068,061			1,068,061			

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり								
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域の方でみんなで守る								
	11 目	国際交流費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援								
実施計画掲載ページ		P125	中 事 業		国際交流推進費										
事業コード		001-201-004-00307	事 業 名		外国人相談窓口開設事業										
目的及び事業内容 石巻市に暮らす外国人のための相談窓口を設置し、市政の情報提供、専門相談機関の紹介等を行い、外国人も安心して暮らせるまちづくりの推進を図る。 中国語、韓国語、英語、タガログ語の4言語に対応する外国人相談窓口を毎週、定期的に開設している。															
取組実績 【開設状況】 月曜：英語・タガログ語 火曜：中国語 金曜：韓国語 ※上記の曜日、それぞれ1名の外国人通訳が対応 【開設場所】 石巻市復興政策部地域振興課内（市役所4階）															
成 果 震災の影響により減少した外国人住民が、震災前の水準に回復しつつある中において、情報提供や相談、各種専門機関へつなぐなどの対応を行い、外国人も安心して暮らせるまちづくりの推進が図られた。 【相談状況】 <table border="1"> <tr> <td>実施年度</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>28件</td> <td>46件</td> <td>36件</td> </tr> </table> 【内容】 ・行政手続き（国民健康保険、子育て・教育関係、各種証明書の申請など） ・被災後の生活状況 ・生活に係る悩み（バウハラ等）相談 ・各種情報提供								実施年度	H24	H25	H26	相談件数	28件	46件	36件
実施年度	H24	H25	H26												
相談件数	28件	46件	36件												
成果に係る評価 相談内容として生活支援的な相談が多いが、今後は被災後の生活状況や震災の影響による心の相談等も予想されることから、今後も関係機関・部署との連携を図りながら対応していく必要がある。															
（単位：円）															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源									
	713,000	692,550				692,550									

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり												
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域の方でみんなで守る												
	11 目	国際交流費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援												
実施計画掲載ページ		P125	中 事 業		国際交流推進費														
事業コード		001-201-004-00308	事 業 名		日本語教室等開設事業														
目的及び事業内容 市内に居住する外国人住民が安心して暮らしやすい地域にすることや、言葉の壁によるコミュニケーション不足の解消を図ることを目的に、日本語の学習支援として日本語教室を開催する団体に補助金を交付するとともに、外国人住民の生活環境向上につながるセミナー等を開催した。																			
取組実績 ○外国人のための日本語学習支援教室へ補助金の交付 ・日本語支援教室、生活習慣の講座など外国人向け研修会等を実施した。 ○日本語を母語としない親子の進路ガイダンスの開催 ・日本で婚姻・出産・子育てを行う外国人住民を対象として、県及び市の教育制度の説明会を実施した。 （宮城県国際化協会、各種団体との共催事業） ○「じゃばNeeds塾（全6回）」の開催 ・石巻市に住む外国人住民が日本語を習得するとともに様々な分野の事柄を学習及び体験することによって、語学能力とともに生活に関する知識の向上を図り、外国人住民が市民生活を送る上で有益な講座を実施した。																			
成 果 日本語教室を主催する団体への支援により、初歩的でわかりやすい日本語学習が実施され、外国人住民が安心して暮らしやすい地域づくりの推進が図られた。 また、市による学習・体験塾を開講し、生活に関する知識の向上を図ることができた。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>学習者数</td> <td>出身国数</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>38人</td> <td>13カ国</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>30人</td> <td>11カ国</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>32人</td> <td>12カ国</td> </tr> </table> ○日本語を母語としない親子の進路ガイダンスの開催 参加者数 7人 ○じゃばNeeds塾 参加者数 延べ29人									学習者数	出身国数	H24	38人	13カ国	H25	30人	11カ国	H26	32人	12カ国
	学習者数	出身国数																	
H24	38人	13カ国																	
H25	30人	11カ国																	
H26	32人	12カ国																	
成果に係る評価 単なる日本語学習に留まらず、「安心して暮らせる」、「地域住民とともに生きていける」をテーマとした体験型の塾が受講者に好評であったことから、今後も創意工夫による取組みを実施していく必要がある。																			
（単位：円）																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	500,433	500,433	143,500			356,933													

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第6節	日常の身近な安全性を高める		()	
	14 目	交通安全対策費		(1)	交通事故の発生を防止する		()	
実施計画掲載ページ	P78		中 事 業	交通安全対策費				
事業コード	004-006-001-00002		事 業 名	交通安全推進事業				
目的及び事業内容	<p>広く市民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、市民自身による交通事故防止に向けた取り組みを推進する。</p>							
取 組 実 績	各種交通安全運動として下記の事業を実施した。							
	月 日	事 業 名			事 業 内 容			
	4 上旬	新入生児童に対する交通事故防止			ランドセルカバー、黄色い帽子の配布			
	4 6 ~ 15	春の交通安全運動			広報車による広報活動 交通安全指導員等による街頭指導 大型店舗での店内放送による広報			
	7 18 ~ 8/31	夏の交通事故防止運動			市報掲載による広報			
	9 21 ~ 30	秋の交通安全運動			広報車による広報活動 交通安全指導員等による街頭指導 大型店舗での店内放送による広報			
	10 1 ~ 1/31	夕暮れ時の交通事故防止運動			市報掲載による広報			
	12 1 ~ 3/31	冬の安全運転1・2・3運動			市報掲載による広報			
	12 15 ~ 1/15	年末年始の交通事故防止運動			交通指導員等による街頭指導			
	飲酒運転根絶活動として下記の事業を実施した。							
月 日	事 業 名			事 業 内 容				
8	飲食店個別訪問			石巻駅前地区				
9 21 ~ 30	秋の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動			大型店舗での店内放送による広報 ラジオ石巻による広報				
12 1	フリーペーパーへの広告掲載による広報			んだっっちゃ！12月号				
12 6	宿泊施設個別訪問			中里地区				
12 17	飲食店個別訪問							
2 23	飲酒運転根絶推進事業講演会			プライダルホール飛翔閣				
2 25	飲食店個別訪問			中央・立町地区				
成 果	各期の交通安全運動のほか、石巻市交通安全都市推進協議会等の関係機関・団体との連携により、子供と高齢者の交通事故防止を推進するなど、市民に対し交通安全意識の高揚が図られ、安全で快適な交通社会への実現に寄与した。							
成果に係る評価	安全で快適な交通社会への実現に寄与していることから、事業を継続して実施していく。							
単位：円								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	2,400,000	2,400,000	250,000			2,150,000		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第1章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																								
	1 項	総務管理費		第3節	市民満足度の高い行政サービスを提供する		()																								
	15 目	電子計算費		(2)	行政サービスの質の向上を図る		()																								
実施計画掲載ページ	P13		中 事 業	電子計算処理費																											
事業コード	001-003-002-00558		事 業 名	庁内情報化推進事業																											
目的及び事業内容	<p>住民情報システムの安定稼働を図り、事務の効率化及び住民サービスの向上に向けたシステムを構築する。 情報系事務端末は、計画的に更新を行い、効率的な情報共有による事務の効率化を図る。</p>																														
取 組 実 績	<p>1 住民情報システムの安定稼働維持 住民情報システムの安定稼働を常時監視し、設備機器の修繕及び予防保守に努めた。</p> <p>2 事務の効率化及び住民サービスの向上に向けたシステム維持 住民情報システムにおける各業務プログラムの制度改正等に伴う新規開発及び改修に努め、事務作業の効率化を図った。</p> <p>3 情報系端末の安定稼働維持 情報系端末の安定稼働維持のため、各課からの要望に迅速に対応し、機器の修繕及び予防保守に努めた。</p> <p>4 住民情報システムの更新 住民情報システムの更新に当たっては、地域情報プラットフォームを活用したシステムへの再構築を行い、平成27年1月から住基システム、税系システム、共通基盤システムからなる新住民情報システムを稼働し、業務・システムの効率化を図った。</p>																														
	成 果	<p>住民情報システムの動作管理により早期に故障を感知し、予防的対応を含め、積極的に対応することにより安定稼働を確保することに努めた。併せて、住民情報システムにおける各業務の処理及び制度改正等による業務プログラムの新規開発・改修作業を数多く実施し、事務作業の効率化と住民サービスの向上が図られた。 新住民情報システムへの更新により、システム間のデータ連携を効率的に行うことが可能となり、業務・システムの効率化が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>項 目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">業務処理</td> <td>オンライン業務</td> <td>572件</td> <td>595件</td> <td>593件</td> </tr> <tr> <td>バッチ処理業務</td> <td>1,616件</td> <td>1,653件</td> <td>1,655件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">プログラム開発等</td> <td>プログラム新規開発</td> <td>52件</td> <td>55件</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>プログラム修正</td> <td>61件</td> <td>61件</td> <td>20件</td> </tr> </tbody> </table>								区 分	項 目	H24	H25	H26	業務処理	オンライン業務	572件	595件	593件	バッチ処理業務	1,616件	1,653件	1,655件	プログラム開発等	プログラム新規開発	52件	55件	20件	プログラム修正	61件	61件
区 分	項 目	H24	H25	H26																											
業務処理	オンライン業務	572件	595件	593件																											
	バッチ処理業務	1,616件	1,653件	1,655件																											
プログラム開発等	プログラム新規開発	52件	55件	20件																											
	プログラム修正	61件	61件	20件																											
成果に係る評価	<p>新住民情報システムへの切替えに当たり、システム構築・事務業務の両面から最適化の視点で見直し、効率的な住民情報システムの整備ができた。今後も、住民情報システムの更なる安定稼働やセキュリティの向上に取り組む必要がある。 情報系事務端末においては、計画的な配置更新ができた。</p>																														
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	588,292,936	558,761,599	12,239,000			546,522,599																									

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	()																																	
	1 項	総務管理費		第 節		()																																	
	16 目	情報プラザ運営費		()		()																																	
実施計画掲載ページ			中 事 業	情報プラザ関係費																																			
事業コード			事 業 名	情報プラザ運営事業																																			
目的及び事業内容		市民のコンピュータリテラシーの習得を推進・支援し、市民生活の利便性を向上させ、魅力的な地域社会の貢献に寄与する。																																					
取 組 実 績		<p>1 パソコン初心者への施設利用者に対して、積極的にマンツーマン指導、助言を行い、一般利用者（市民）がより利用しやすい環境整備を図った。</p> <p>2 パソコン初心者から中級者までを対象に、恒常的にパソコンセミナーを開催し、コンピュータリテラシーの向上を図った。</p> <p>3 市民のインターネット環境充実のためのプロバイダー業務を推進し、ユーザーに対し適切なサービスの提供を図った。</p> <p>4 放送大学宮城学習センター石巻視聴学習室（再視聴施設）を設置しており、生涯学習課と連携しながら再視聴や教材貸出しの受付事務を行った。</p>																																					
成 果		<p>市民が身近にパソコンと触れ合う場として施設・サービスを提供することにより、魅力的な地域社会に貢献し、市民のICT環境の整備が図られた。</p> <p>主な情報プラザ利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PCセミナー等利用者</td> <td>1,309人</td> <td>1,292人</td> <td>1,146人</td> </tr> <tr> <td>情報プラザ主催事業</td> <td>695人</td> <td>731人</td> <td>840人</td> </tr> <tr> <td>その他主催事業</td> <td>614人</td> <td>561人</td> <td>306人</td> </tr> <tr> <td>インターネット外部接続利用者</td> <td>238人</td> <td>222人</td> <td>208人</td> </tr> <tr> <td>ネットデッキ利用者（インターネット）</td> <td>621人</td> <td>445人</td> <td>482人</td> </tr> <tr> <td>放送大学利用者</td> <td>166人</td> <td>131人</td> <td>155人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,334人</td> <td>2,090人</td> <td>1,991人</td> </tr> </tbody> </table>						区分	H24	H25	H26	PCセミナー等利用者	1,309人	1,292人	1,146人	情報プラザ主催事業	695人	731人	840人	その他主催事業	614人	561人	306人	インターネット外部接続利用者	238人	222人	208人	ネットデッキ利用者（インターネット）	621人	445人	482人	放送大学利用者	166人	131人	155人	合計	2,334人	2,090人	1,991人
区分	H24	H25	H26																																				
PCセミナー等利用者	1,309人	1,292人	1,146人																																				
情報プラザ主催事業	695人	731人	840人																																				
その他主催事業	614人	561人	306人																																				
インターネット外部接続利用者	238人	222人	208人																																				
ネットデッキ利用者（インターネット）	621人	445人	482人																																				
放送大学利用者	166人	131人	155人																																				
合計	2,334人	2,090人	1,991人																																				
成果に係る評価		<p>PCセミナーを含めた施設全体での利用者数は、ほぼ横ばいから減少傾向である。情報プラザ主催事業に関しては、1対1でのセミナーだけでなく、大人数でも行うなどして、利用者人数を僅かではあるが、増加させた。</p> <p>インターネット接続利用者がH24年度以降減少しているのは、被災地域の利用者で当館の接続サービスを再開した人が少なかったことが主な原因と考えられる。また、民間プロバイダ事業者への変更も僅かだが増加傾向にある。これは固定電話とスマートフォンのセット契約といった料金形態にかなりの値ごろ感があり、利用者の動向が反映しているものと考えられる。</p> <p>ネットデッキ利用者は、H24年度と比較すると減少しているが、これは各家庭におけるインターネット接続環境が整ってきていることが推察できる。しかしながら、H25年度よりも僅かに増加しており、施設として役割を果たしているものと考えられる。今後もセミナー等を継続し、市民のコンピュータリテラシー向上に結び付けたい。</p>																																					
(単位：円)																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
	51,485,000	49,330,397			1,827,630	47,502,767																																	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	復興計画	()																																
	1 項	総務管理費		第 3 節		()																																
	25 目	諸費		(1)		()																																
実施計画掲載ページ		P30	中 事 業	非核平和都市推進費																																		
事業コード		002-003-001-00022	事 業 名	非核平和推進人材育成事業																																		
目的及び事業内容		市の将来を担う中学生を対象に、核兵器が人類に及ぼした悲惨な現実と平和の尊さを学ぶため、広島市が主催する平和記念式典に参加する中学生派遣事業及び市内中学校において原爆被爆者を講師とした被爆者体験講話を実施し、恒久平和に貢献する人材の育成を図る。																																				
取 組 実 績		<p>1 非核平和推進人材育成事業の実施</p> <p>(1) 平和記念式典等への中学生派遣事業 研修先：広島市 日 時：平成26年8月5日（火）～7日（木） 市内中学生8名 研修内容：平和記念式典への参加、被爆体験者講話、平和記念資料館視察等</p> <p>(2) 被爆体験者講話 参加者：桃生中学校1年生70名 日 時：平成27年2月2日（月）桃生中学校 内 容：被爆体験者講話として、宮城県原爆被爆者の会事務局長の木村緋紗子氏（8歳の時被爆）を講師に招き、「平和を願って！」～被爆体験者が語る平和の大切さ～をテーマとして、講演会を開催</p>																																				
成 果		<p>市の将来を担う中学生が、広島市が主催する平和記念式典等への参加や、被爆体験者講話を通して平和の尊さを学ぶことにより、非核平和に対する啓発や恒久平和に貢献できる人材の育成が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区 分</th> <th colspan="3">平和記念式典等への中学生派遣事業</th> <th colspan="2">被爆体験者講話</th> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標：研修参加人数</th> <th rowspan="2">達成率等</th> <th rowspan="2">講話参加人数</th> <th rowspan="2">実施校</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>60</td> <td>河南西中2年生</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>96</td> <td>石巻中1年生</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>100%</td> <td>70</td> <td>桃生中1年生</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	平和記念式典等への中学生派遣事業			被爆体験者講話		成果指標：研修参加人数		達成率等	講話参加人数	実施校	目標値	実績値	H24	-	-	-	60	河南西中2年生	H25	-	-	-	96	石巻中1年生	H26	8	8	100%	70	桃生中1年生
区 分	平和記念式典等への中学生派遣事業			被爆体験者講話																																		
	成果指標：研修参加人数		達成率等	講話参加人数	実施校																																	
	目標値	実績値																																				
H24	-	-	-	60	河南西中2年生																																	
H25	-	-	-	96	石巻中1年生																																	
H26	8	8	100%	70	桃生中1年生																																	
成果に係る評価		<p>終戦から70年が経ち、本市の中学生が広島市が主催する平和記念式典等への参加を通して、平和の尊さを学ぶことにより、非核平和に対する啓発や恒久平和に貢献できる人材の育成に資することができた。平和記念式典等派遣事業参加者は研修終了後、自校において文化祭での発表や壁新聞の作成などを通し、幅広く啓発活動を行った。</p> <p>また、被爆体験者の講話により、戦争の恐ろしさ、悲惨さを学ぶ機会を提供することができた。今後も事業を継続し、引き続き恒久平和に貢献できる人材の育成に資する。</p>																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	1,217,000	1,211,910				1,211,910																																

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり	
	1 項	総務管理費				(1)	新たな防災体制の構築	
	28 目	東日本大震災関係費				(4)	震災記録の継承	
実施計画掲載ページ		P 122	中 事 業		震災広報関係費			
事業コード		001-104-001-00301	事 業 名		震災記録収集整理事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容		震災の記録を保存し、復興への道程をデジタルアーカイブとして後世に伝え、今後の防災事業等の一助とする。						
取 組 実 績		1 震災記録写真、動画データ等の収集・整理 2 被災体験談記録（オーラルヒストリー）収集事業 ・被災した市民の被災体験談をビデオカメラで撮影し保存した。 3 被災体験談記録（オーラルヒストリー）上映会 ・市民を対象に上映会を実施した。 (1)4月12日（土）遊楽館 110人 (2)3月15日（日）石巻専修大学 300人 4 震災関連資料のデジタル化 ・震災関係市公文書、各種団体から提供された震災資料のデジタル化を行った。 5 石巻市震災復興記録写真展 (1)4月12日（土）遊楽館（オーラルヒストリー上映会） (2)9月13日（土）・14日（日）石巻専修大学（ツール・ド・東北2014） (3)3月15日（日）石巻専修大学（石巻市防災シンポジウム）						
成 果		写真展や上映会を開催することにより、震災アーカイブの必要性を市民に周知することができ、市民の防災への意識の高揚が図られた。 各種イベントに合わせ、職員が展示作業する写真展を開催する等経費の節減に努めた。						
成果に係る評価		今後も継続して復興過程を記録し、震災関連資料の収集等を行う必要がある。 収集した資料は情報交流館で展示等に活用するとともに、震災の記録として冊子等の発行を検討する。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	5,000,000		183,600				183,600	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す	
	1 項	総務管理費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保	
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援	
実施計画掲載ページ		P 152	中 事 業		震災広報関係費			
事業コード		002-101-003-00357	事 業 名		市報復興号発行事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容		東日本大震災による復旧復興の様々な情報を迅速に発信するため、市報15日号を毎月発行する。						
取 組 実 績		より多くの復旧復興関連情報を掲載した市報を毎月発行した。 また、説明に地図や写真等を使用し復興の状況が分かりやすいように掲載することに努めた。 〔市報復興号発行〕 毎月15日発行、発行部数月63,500部、8ページ、フルカラー 掲載内容 ・生活再建に対する支援 ・住宅再建支援制度 ・土地の買い取り ・震災復興状況 ・主な復興事業の進捗状況と今後の予定 ・防災集団移転促進事業 ・復旧事業等の進捗状況 ・復興公営住宅の進捗状況 ・復興事業の概要と行程 ・復興特区による税制優遇制度 ・防災集団移転・復興公営住宅の事前登録 ・復興公営住宅入居者募集						
成 果		お知らせごとにアイコンを設けるなど分かりやすさに努めながら、多くの震災復興関連の情報を迅速かつ的確に発信することができた。						
成果に係る評価		被災した市民に対する生活再建情報や復興公営住宅関連情報は、生活を再建する上での確に早く伝えることが必要であることから、今後も継続して発行していくこととする。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	14,000,000		13,901,760				13,901,760	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す
	1 項	総務管理費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援
実施計画掲載ページ	P153		中 事 業	震災広報関係費			
事業コード	002-101-003-00535		事 業 名	全国避難者市報等郵送事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容	東日本大震災により被災し、石巻市外への避難を余儀なくされている市民に行政情報や復興関連情報、生活再建情報を伝えるため、市報等を郵送する。						
取組実績	全国避難者情報システムに登録している市民や石巻市外のみならず仮設に入居している被災した市民等へ、市報1日号と15日号の発行に合わせ月2回郵送した。 <ul style="list-style-type: none"> ・1回平均・・・2,347通 ・郵送物・・・市報、議会だより、県政だより、社協だより、選挙チラシ ・郵送方法・・・ゆうメール 						
成 果	石巻市の情報を伝えることで、市外で生活している市民の不安要素が取り除かれた。						
成果に係る評価	被災し市外で生活している市民に再び石巻市に戻っていただくことから、行政情報や生活再建情報等を伝えることは必要であるので、今後も市報等を継続して送付することとする。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	5,900,000	4,371,111			4,371,111		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり								
	1 項	総務管理費				(3)	減災まちづくりの推進								
	28 目	東日本大震災関係費				(3)	新エネルギー等の活用								
実施計画掲載ページ	P147		中 事 業	復興協働プロジェクト関係費											
事業コード	001-303-001-00351		事 業 名	復興協働プロジェクト協議会関連事業											
目的及び事業内容	本市では、産業の創造と雇用の創出が図られる魅力的なまちとして復興させることを目的とし、石巻復興協働プロジェクト協議会を設置し、10の事業の事業化を検討した。協議会は、関係企業による事業化が進み、その方向性も定まったとして、平成26年3月に解散した。協議会の解散に伴い、事務を担当していた新産業創造課が組織再編され、ICT総合推進室が創設された。ICT総合推進室では、石巻復興協働プロジェクト協議会で実施していた「エコ・セーフティタウン事業」を「スマートコミュニティ推進事業」として引き継ぎ、ICTを活用した災害に強く環境にやさしいまちづくりを実施している。														
取組実績	1 予算編成後に組織再編が実施された経緯があり「復興協働プロジェクト協議会関連事業」として下記のICT関連事業を実施した。 2 事業内容について (1) スマートコミュニティ推進事業 ア 新蛇田地区（スマートコミュニティ推進事業モデル地区）へのMEMS（マンションのエネルギー管理システム）、HEMS（宅内のエネルギー管理システム）の導入 イ 有事の際に避難所となる市内全域の公共施設にBEMS（ビルエネルギー管理システム）を導入 ウ 新蛇田地区の復興住宅へ入居される方へスマートコミュニティ推進事業の説明を実施														
成 果	○ 事業の成果 (1) スマートコミュニティ推進事業 平成26年度は、県の再生可能エネルギー等導入補助金を活用してPV（太陽光パネル）・蓄電池を設置し北上保健医療センターに対してBEMSの設置を進めた。また、スマートコミュニティ推進事業のモデル地区となっている新蛇田地区の復興住宅へ資源エネルギー庁のスマートコミュニティ導入促進補助金を活用し、MEMS、HEMSの整備を実施し、住民に対し周知を図った。 【導入実績】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>区分</th> <th>BEMS</th> <th>MEMS</th> <th>HEMS</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>1箇所</td> <td>1棟</td> <td>20戸</td> </tr> </table> ※石巻小学校・釜小学校・稲井小学校・稲井中学校・門脇中学校、蛇田中学校、桜坂高等学校、稲井支所、北上保健医療センター、湊複合施設の9施設については、復興事業で実施している施設の改修工事等が遅延したことにより、次年度繰越として平成27年秋までに整備を完了する予定。							区分	BEMS	MEMS	HEMS	H26	1箇所	1棟	20戸
区分	BEMS	MEMS	HEMS												
H26	1箇所	1棟	20戸												
成果に係る評価	上記について、関係企業・団体等との協働により事業の実施や検討を進めることができた。スマートコミュニティ推進事業の実施に当たっては、民間事業者と連携することで最小限の費用負担で事業を進めることができた。														
(単位：円)															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源									
	3,709,000	2,317,245					2,317,245								

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																												
	1 項	総務管理費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																												
	28 目	東日本大震災関係費		()		(1)	被災者への生活支援																												
実施計画掲載ページ	P154		中 事 業	被災地域交通対策関係費																															
事業コード	002-101-005-00361		事 業 名	応急仮設住宅バス運行事業																															
目的及び事業内容	<p>応急仮設住宅の立地場所は、日常生活における買い物や通院などに不便な地区が多く、応急仮設住宅生活者を中心とした被災者が基本的な生活を送れるよう、商業施設や医療機関を巡回するバスを低廉な運賃で運行するため、運行主体に対し運行費を補助する。</p>																																		
取組実績	被災者の日常生活を支援するため、低廉な運賃でバスを運行している運行主体に対し運行費を補助した。																																		
	<p>平成26年度路線別補助の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>運行主体（補助対象）</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市内仮設住宅循環線</td> <td>株ミヤコーバス</td> <td>5,942,908円</td> </tr> <tr> <td>河北地区仮設住宅線</td> <td>河北地区住民バス運行協議会</td> <td>6,986,367円</td> </tr> <tr> <td>桃生地区仮設住宅線</td> <td>桃生地区運行協議会</td> <td>8,415,947円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>21,345,222円</td> </tr> </tbody> </table>							路線名	運行主体（補助対象）	補助金額	石巻市内仮設住宅循環線	株ミヤコーバス	5,942,908円	河北地区仮設住宅線	河北地区住民バス運行協議会	6,986,367円	桃生地区仮設住宅線	桃生地区運行協議会	8,415,947円	合計		21,345,222円													
路線名	運行主体（補助対象）	補助金額																																	
石巻市内仮設住宅循環線	株ミヤコーバス	5,942,908円																																	
河北地区仮設住宅線	河北地区住民バス運行協議会	6,986,367円																																	
桃生地区仮設住宅線	桃生地区運行協議会	8,415,947円																																	
合計		21,345,222円																																	
成 果	<p>年々利用者数が増加しており、乗車区間、距離に関わらず一律100円という運賃の効果もあり、被災者の通院や買い物等の生活の足として定着し、被災者支援が図られた。</p>																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="2">H25</th> <th colspan="2">H26</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市内仮設住宅循環線</td> <td>25,154人</td> <td>1,464便</td> <td>25,296人</td> <td>1,464便</td> </tr> <tr> <td>河北地区仮設住宅線</td> <td>9,030人</td> <td>732便</td> <td>10,586人</td> <td>735便</td> </tr> <tr> <td>桃生地区仮設住宅線</td> <td>4,783人</td> <td>958便</td> <td>5,352人</td> <td>968便</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>38,967人</td> <td>3,154便</td> <td>41,234人</td> <td>3,167便</td> </tr> </tbody> </table>							路線名	H25		H26		利用者数	便数	利用者数	便数	石巻市内仮設住宅循環線	25,154人	1,464便	25,296人	1,464便	河北地区仮設住宅線	9,030人	732便	10,586人	735便	桃生地区仮設住宅線	4,783人	958便	5,352人	968便	合計	38,967人	3,154便	41,234人
路線名	H25		H26																																
	利用者数	便数	利用者数	便数																															
石巻市内仮設住宅循環線	25,154人	1,464便	25,296人	1,464便																															
河北地区仮設住宅線	9,030人	732便	10,586人	735便																															
桃生地区仮設住宅線	4,783人	958便	5,352人	968便																															
合計	38,967人	3,154便	41,234人	3,167便																															
成果に係る評価	<p>低廉な運賃での運行を継続して実施し、被災者の負担軽減が図られるとともに、移動手段が確保され生活支援の一助となった。 今後、復興公営住宅等への移転が進むことから、復興状況に対応した利便性の高いバスとなるよう運行ルートの変更等を実施していく。</p>																																		
(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
	21,862,280	21,345,222	21,343,660			1,562																													

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域のかでみんなで守る
	28 目	東日本大震災関係費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ	P125		中 事 業	地域自治システム関係費			
事業コード	001-201-005-00310		事 業 名	地域自治システム構築支援事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容	<p>地域の特徴を生かした地域住民自身の意思に基づくまちづくりや住民自治の確立を目指し、市民と行政が協働のまちづくりを進めていくため地域自治システムを構築する。</p>						
取組実績	<p>地域自治システムサポート事業により、住民自治組織設立支援を実施した。 住民自治組織の設立へ向け活動する団体へ、石巻市住民自治組織設立支援事業補助金を交付した。 地域の創意と工夫、判断と責任を尊重し、市民と行政の協働による魅力あるまちづくりを推進するとともに、住民自治組織の円滑な運営と個性あふれる地域づくりを支援するため、石巻市住民自治組織交付金を交付した。</p> <p>【事業内容】</p> <p>1 石巻市住民自治組織設立支援事業補助金 桃生地区 桃生地区・協働のまちづくりの会準備会 交付額：83,411円 山下地区 山下地区協働のまちづくり協議会設立準備会 交付額：279,200円</p> <p>2 住民自治組織交付金 河南地区 河南地域住民自治協議会 交付額：2,312,000円 山下地区 山下地区協働のまちづくり協議会 交付額：210,930円 (山下地区については、H26.9.7に設立)</p> <p>3 石巻地域自治システムサポート事業 実施内容：地域自治システムの取り組みを進める地区内の町内会、各種団体の関係者、NPO事業者及びまちづくりに積極的に関わる住民等で構成される団体等の対話をサポートし、情報の共有や地域課題の抽出及び課題解決に必要な地域力・地域資源とのコーディネート等を行い、設立準備組織団体および設立団体のサポートを実施した。</p> <p>委 託 先：一般社団法人 ISHINOMAKI2.0</p>						
	成 果	<p>高齢化社会の進展とともに、地域の担い手不足等が深刻化している中、多世代の参加による地域活動の実施により、地域の活性化が図られた。また、サポート事業を実施したことにより、定期的な会議の開催等が行われ、準備会および協議会の活動の展開が図られた。</p>					
成果に係る評価	<p>行政サービスだけでは解決できない地域課題に対し、安定した住民生活と暮らしやすい地域社会の実現に向けて、住民と行政の協働が求められている中、地域が自立した地域経営や地域活動を行うためには、交付金の有効活用と組織の拠点となる場所が必要である。また、震災により地区集落等が崩壊したため、復旧・復興を優先せざるを得ない地域もあるが、自治システムを構築していくためには、全職員が丸となった取り組みが必要で、自治システムに対する職員の意識の高揚も図りながら、協働のまちづくりを推進する必要がある。</p>						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	15,087,000	10,993,101			5,410,098	5,583,003	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																											
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域の方でみんなで守る																											
	28 目	東日本大震災関係費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援																											
実施計画掲載ページ	P124		中 事 業	地域コミュニティ再生関係費																														
事業コード	001-201-003-00305	事 業 名	コミュニティ形成支援補助事業（コミュニティづくり支援事業費補助金）〔復興基金〕																															
目的及び事業内容	<p>震災の影響で町内会等による祭りなどのイベント等の開催が自粛され、コミュニケーションづくりの場が少なくなっていることから、住民主体で開催する交流事業やイベントなどの事業に助成を行い、町内会組織等の再生と仮設住宅団地内のコミュニケーションづくりやコミュニティの育成促進を図る。</p> <p>支援補助額：1団体年1回とし、10万円を限度として補助。</p>																																	
取組実績	<p>市内に設立されている町内会や仮設住宅団地の自治会組織等の住民自治組織129団体129事業に対し、11,956,821円の補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>交付件数</th> <th>補助金交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻</td> <td>81件</td> <td>7,648,012円</td> </tr> <tr> <td>河北</td> <td>11件</td> <td>978,945円</td> </tr> <tr> <td>雄勝</td> <td>1件</td> <td>91,814円</td> </tr> <tr> <td>河南</td> <td>21件</td> <td>2,020,438円</td> </tr> <tr> <td>桃生</td> <td>8件</td> <td>557,373円</td> </tr> <tr> <td>北上</td> <td>3件</td> <td>279,000円</td> </tr> <tr> <td>牡鹿</td> <td>4件</td> <td>381,239円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>129件</td> <td>11,956,821円</td> </tr> </tbody> </table>							地区名	交付件数	補助金交付額	石巻	81件	7,648,012円	河北	11件	978,945円	雄勝	1件	91,814円	河南	21件	2,020,438円	桃生	8件	557,373円	北上	3件	279,000円	牡鹿	4件	381,239円	計	129件	11,956,821円
	地区名	交付件数	補助金交付額																															
石巻	81件	7,648,012円																																
河北	11件	978,945円																																
雄勝	1件	91,814円																																
河南	21件	2,020,438円																																
桃生	8件	557,373円																																
北上	3件	279,000円																																
牡鹿	4件	381,239円																																
計	129件	11,956,821円																																
成 果	<p>町内会や仮設住宅団地など比較的小さいエリアで開催する事業を支援することで、住民主体による地域づくりやコミュニケーションづくりが推進され、地域の交流が図られた。</p> <p>■主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏まつり（盆踊り）等 ・レクリエーション大会 ・清掃活動等の地域づくり ・敬老行事 ・スポーツ大会 ・親睦旅行 ・講演、講座等の開催 ・世代間交流イベント 																																	
成果に係る評価	<p>震災の影響を受けた町内会や行政区では、世帯数の減少等により地域のコミュニティ活動が困難となっている。しかし、広報や市のホームページ等での周知、連合会総会、支所区長会等において説明を行いPRした結果、前年度と比較して40件の増加となった。</p> <p>活力ある個性豊かな地域社会を実現するためには、地域のコミュニティ活動が欠かせないため、復興まちづくりのための活性化事業に対し、引き続き支援を行っていく必要がある。</p>																																	
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	17,300,000	11,956,821			11,956,821																													

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																																																																		
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域の方でみんなで守る																																																																		
	28 目	東日本大震災関係費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援																																																																		
実施計画掲載ページ	P124		中 事 業	地域コミュニティ再生関係費																																																																					
事業コード	001-201-003-00306	事 業 名	集会所等コミュニティ施設復旧整備事業																																																																						
目的及び事業内容	<p>【目的】 市民と行政の協働のまちづくりを図る。</p> <p>【内容】 東日本大震災により被災した集会所の新築、改築、増築、改修事業への助成や集会所として使用する目的である既存建物・土地の取得事業への助成</p>																																																																								
取組実績	<p>○被災集会所の改築、増築及び改修事業（石巻市東日本大震災被災集会所建設費等補助金）</p> <p>【新築2件】 ・羽坂・桑浜地区集会所（雄勝） ・釜崎集会所（北上）</p> <p>【備品3件】 ・鹿松復興住宅集会所（石巻） ・羽坂・桑浜地区集会所（雄勝）</p> <p>・釜崎集会所（北上）</p> <p>【改修5件】 ・日向日影生活センター（石巻） ・上釜分館（石巻） ・流留集会所（石巻）</p> <p>・桑柄生活センター（河南） ・大須生活改善センター（北上）</p> <p>【土地購入1件】 ・横川公民館（河北）</p>																																																																								
成 果	<p>東日本大震災により被災した地区集会所を整備することにより、地域住民活動の拠点が整備されるとともに、コミュニティ組織づくりの促進が図られた。</p> <p>○石巻市東日本大震災被災集会所建設費等補助金 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>集会所名</th> <th>事業区分</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">羽坂・桑浜地区集会所 (雄勝)</td> <td>新築</td> <td>21,361,000</td> <td>21,361,000</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>初期備品</td> <td>675,200</td> <td>500,000</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>22,036,200</td> <td>21,861,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">釜崎集会所 (北上)</td> <td>新築</td> <td>19,537,200</td> <td>19,537,000</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>初期備品</td> <td>619,920</td> <td>500,000</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20,157,120</td> <td>20,037,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鹿松復興住宅集会所(石巻)</td> <td>初期備品</td> <td>500,000</td> <td>500,000</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>日向日影生活センター(石巻)</td> <td>改修及び付帯設備</td> <td>3,124,602</td> <td>3,000,000</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>上釜分館(石巻)</td> <td>改修及び付帯設備</td> <td>2,995,750</td> <td>2,995,000</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>流留集会所(石巻)</td> <td>改修及び付帯設備</td> <td>1,545,400</td> <td>1,545,000</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>桑柄生活センター(河南)</td> <td>改修</td> <td>2,635,000</td> <td>2,000,000</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>大須生活改善センター(北上)</td> <td>改修及び付帯設備</td> <td>3,533,000</td> <td>2,530,000</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>横川公民館(河北)</td> <td>土地購入</td> <td>816,000</td> <td>408,000</td> <td>1/2以内</td> </tr> </tbody> </table>							集会所名	事業区分	事業費	補助金額	割合	羽坂・桑浜地区集会所 (雄勝)	新築	21,361,000	21,361,000	全額	初期備品	675,200	500,000	上限	計	22,036,200	21,861,000		釜崎集会所 (北上)	新築	19,537,200	19,537,000	上限	初期備品	619,920	500,000	上限	計	20,157,120	20,037,000		鹿松復興住宅集会所(石巻)	初期備品	500,000	500,000	全額	日向日影生活センター(石巻)	改修及び付帯設備	3,124,602	3,000,000	上限	上釜分館(石巻)	改修及び付帯設備	2,995,750	2,995,000	全額	流留集会所(石巻)	改修及び付帯設備	1,545,400	1,545,000	上限	桑柄生活センター(河南)	改修	2,635,000	2,000,000	上限	大須生活改善センター(北上)	改修及び付帯設備	3,533,000	2,530,000	上限	横川公民館(河北)	土地購入	816,000	408,000	1/2以内
集会所名	事業区分	事業費	補助金額	割合																																																																					
羽坂・桑浜地区集会所 (雄勝)	新築	21,361,000	21,361,000	全額																																																																					
	初期備品	675,200	500,000	上限																																																																					
	計	22,036,200	21,861,000																																																																						
釜崎集会所 (北上)	新築	19,537,200	19,537,000	上限																																																																					
	初期備品	619,920	500,000	上限																																																																					
	計	20,157,120	20,037,000																																																																						
鹿松復興住宅集会所(石巻)	初期備品	500,000	500,000	全額																																																																					
日向日影生活センター(石巻)	改修及び付帯設備	3,124,602	3,000,000	上限																																																																					
上釜分館(石巻)	改修及び付帯設備	2,995,750	2,995,000	全額																																																																					
流留集会所(石巻)	改修及び付帯設備	1,545,400	1,545,000	上限																																																																					
桑柄生活センター(河南)	改修	2,635,000	2,000,000	上限																																																																					
大須生活改善センター(北上)	改修及び付帯設備	3,533,000	2,530,000	上限																																																																					
横川公民館(河北)	土地購入	816,000	408,000	1/2以内																																																																					
成果に係る評価	<p>被災により失われたコミュニティの再生には、拠点施設となる地区集会所の建設・整備は必要不可欠であり、協働のまちづくりの推進にも大きく寄与することから、今後も支援を継続していく必要がある。</p>																																																																								
(単位：円)																																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																			
	55,910,000	54,876,000			29,440,000	25,436,000																																																																			

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり	
	1 項	総務管理費				(2)	地域の力でみんなで守る	
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援	
実施計画掲載ページ		P123	中 事 業		東日本大震災犠牲者追悼式関係費			
事業コード		001-201-001-00303	事 業 名		東日本大震災犠牲者追悼式〔復興基金〕			
目的及び事業内容								
東日本大震災の犠牲となられた方々に対し、哀悼の意を捧げるとともに、夢や希望の持てる新しい石巻市としての復興、再生、発展を遂げていく決意を示すため、市主催の追悼式を開催するもの。								
取組実績								
東日本大震災石巻市追悼式の実施 1 日時 平成27年3月11日（水）午後2時40分～午後5時 2 場所 河北総合センター 3 概要 (1) 式場に祭壇及び献花台を設置した。 (2) 震災で犠牲となられた方々の御遺族（2,757人）に案内状を送付した。 (3) 本庁と各総合支所（河北総合支所を除く。）に祭壇及び献花台を設置し、献花を受け付けた。 (4) 石巻合唱連盟による追悼合唱を行った。 (5) 国主催の追悼式の中継を、追悼式会場及び各献花場で放映した。 (6) 河北総合センターでの追悼式の模様を各献花場に映像配信した。 (7) 石巻駅前、各総合支所等から送迎バスを運行した。 (8) 地震発生時刻の午後2時46分に、防災無線によりサイレンを吹鳴し、市民に黙祷を呼び掛けた。								
成果								
市主催の追悼式を開催することにより、震災の犠牲となられた方々に対し、哀悼の意を捧げるとともに、復興への決意を示すことができた。 参列者 追悼式 河北総合センター 1,100人（献花のみ100人） 献花場 石巻市役所4階庁議室 1,375人 雄勝総合支所仮庁舎 194人 遊楽館 186人 桃生総合支所 118人 北上保健医療センター 194人 牡鹿保健福祉センター 194人 計 3,361人 送迎バス利用者 行き 75人 帰り 79人								
成果に係る評価								
東日本大震災の犠牲となられた方々に哀悼の意を捧げるとともに、新しい石巻市としての復興、再生、発展を遂げていく決意を示すため、事業を継続する必要がある。 今回より開式時刻を国主催の追悼式に合わせたことで、黙祷や国歌斉唱など国と市の追悼式の連携をよりスムーズに行うことができた。								
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	30,000,000		17,222,850				17,222,850	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	()		
	1 項	総務管理費				()		
	28 目	東日本大震災関係費				()		
実施計画掲載ページ			中 事 業		震災復興計画推進関係費			
事業コード			事 業 名		中心市街地活性化基本計画策定事業			
目的及び事業内容								
平成22年3月に「石巻市中心市街地活性化基本計画」を策定（内閣総理大臣の認定）しているが、東日本大震災の影響により、基本計画で定める中心市街地活性化の基本方針と目標を達成するための多くの事業が実施困難となり、また、中心市街地を取り巻く環境が大幅に変化したことから、基本計画の見直しを行うもの。								
取組実績								
庁内に組織したまちづくり活性化推進会議をはじめ、中心市街地活性化検討市民会議により市民の意見を取り入れながら、石巻市中心市街地活性化基本計画を策定し内閣総理大臣の認定を取得した。 ・平成26年 4月～ まちづくり活性化推進会議（全3回開催） ・平成27年 1月 地域再生計画と共に内閣総理大臣認定を取得								
成果								
多様な都市機能を集積し、少子高齢化社会に対応した、歩いて暮らせるコンパクトで安全・安心なまちづくりを進めていくための基本的な方針を示すことができた。 目指す「まち」の姿 ”彩り豊かな食”と”歴史が薫る”川辺のまち 基本方針1 心が通い、安心して暮らせるまちづくり 基本方針2 水辺に親しみ、食と萬画で賑わうまちづくり 基本方針3 歩いて発見、楽しく回遊できるまちづくり								
成果に係る評価								
石巻市中心市街地活性化基本計画策定により中心市街地活性化に向けた基本的な方針を示すことができた。 同計画に位置付けられた各事業を実施し、少子高齢化社会に対応した、歩いて暮らせるコンパクトで安全・安心なまちづくりを進めていく。								
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	2,000,000		1,998,000					1,998,000

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり	
	1 項	総務管理費		第 節		(1)	新たな防災体制の構築	
	28 目	東日本大震災関係費		()		(4)	震災記録の継承	
実施計画掲載ページ		P 123	中 事 業		震災復興計画推進関係費			
事業コード		001-104-002-00909	事 業 名		震災伝承保全事業			
目的及び事業内容		東日本大震災による深い傷跡、悲しみの記憶及び震災を通じて得られた教訓を風化させることなく後世に伝えるための各種施策等を検討し、専門的視点による効果的な提言を得ることを目的として、石巻市震災伝承検討委員会を設置し、「震災記憶の伝承及び震災遺構の選定・保存方法」についての基本的な方針をまとめ、施策の展開を図るもの。						
取 組 実 績		<p>・平成26年5月 先進地視察 「新潟県長岡市、小千谷市」</p> <p>・平成26年7月 第4回検討委員会 「震災遺構3候補についての保存意義・必要性の検討について」</p> <p>・平成26年10月 第5回検討委員会 「旧門脇小学校の保存の在り方と伝承方法の検討」</p> <p>・平成26年11月 第6回検討委員会 「提言書のまとめ」</p> <p>参考：平成25年度の取組</p> <p>・平成25年11月 第1回検討委員会 「震災伝承に係る各被災地の現状及び課題について」</p> <p>・平成26年1月 第2回検討委員会 「先進地視察に係る勉強会」、「震災遺構の事例」</p> <p>・平成26年2月 先進地視察 「兵庫県淡路市、神戸市」、「長崎県島原市、南島原市」</p> <p>・平成26年3月 第3回検討委員会 「震災記録の対象範囲等震災伝承の在り方について」</p>						
成 果		<p>上記検討会議等に基づき、石巻市震災伝承検討委員会より、平成26年12月22日、以下の提言（抜粋）をいただいた。</p> <p><提言></p> <p>○ 震災被害の痕跡を残す施設が少なくなっているが、旧門脇小学校校舎は、津波被害の痕跡のみならず、東日本大震災でクローズアップされた津波火災の痕跡も残している唯一の施設である。被害の状況や、防災、減災を後世に伝える重要な施設であることから震災遺構として保存・活用すること。</p> <p>○ 旧門脇小学校校舎の保存は、被災住民にとってより強く震災当時の記憶を呼び起こすものであるため、周辺住民の感情を十分に考慮すること。</p> <p><付帯意見></p> <p>・旧門脇小学校校舎の保存部分について 本来、校舎の全体保存が望ましいと考えます。しかし、周辺住民の意向を考慮すると、一部解体し、規模をある程度縮小することもやむを得ません。その場合には、旧門脇小学校校舎の特徴である地震・津波・火災の3つの被災状況や被災時の避難経路などが分かるよう保存箇所を検討する必要があります。</p> <p>・ガイダンス機能の必要性 旧門脇小学校校舎は単に残すことだけでなく、ガイダンス機能を併せて整備し、被災時の状況や被災の大きさ、避難経路などについて、語り部などの事業と連携を図り、見学者に分かりやすく鮮明に伝える必要があります。</p>						
成果に係る評価		震災施設の伝承保全事業は、「石巻市震災復興基本計画」における重点プロジェクトの一つであり、「震災の記憶」、「後世への伝承」、「犠牲者の追悼」を主要テーマとして、市が主体となって行う事業として位置づけられている。 今回の提言を踏まえ、周辺住民の方々等の意見を伺いながら、今後の具体的な事業内容等について、庁内検討組織を立ち上げ、検討を進めていくこととする。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	10,770,000		10,662,000				8,246,000	2,416,000

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	()		
	1 項	総務管理費		第 節		()		
	28 目	東日本大震災関係費		()		()		
実施計画掲載ページ			中 事 業		震災復興計画推進関係費			
事業コード			事 業 名		半島部跡地計画策定事業〔復興交付金〕			
目的及び事業内容		半島沿岸部の低平地に所在していた集落は、東日本大震災に伴う津波で甚大な被害を受け、被災者の住まいは防災集団移転促進事業等により、安全な内陸等へと移転することとしている。 それに伴い、被災を受けた跡地（低平地）は、土地利用の再編を迫られていることから、防災集団移転促進事業により購入する被災跡地を含めた低平地全体の将来的な利用の在り方を検討し、被災者の住生活だけでなく、真なる復興を成し遂げるための跡地計画を策定する。						
取 組 実 績		<p>本市の半島沿岸部については、約1mの広域地盤沈下により、排水不良が生じているものの、排水不良を解消する抜本的な解決策としての事業手法が確立していない。</p> <p>また、防災集団移転促進事業により買い取りを行った用地は、市で管理していくことになるため、今後の維持管理経費を踏まえ、地元住民をはじめとする民間事業者積極的に活用してもらう必要があるが、半島沿岸部の対象集落は75集落にのぼり、かつ、地区により被害の度合いや主要産業が異なるため、一概には、跡地利用ができない状態であった。</p> <p>そのため、主に、「排水対策及び地元活用を促す公共施設整備に係る事業手法の確立」及び「地区ごとに住民意見を聴取する住民懇談会の開催」を進めた。</p> <p><主な取組></p> <p>4月～11月 事業手法の検討・各地区の跡地計画（案）の検討</p> <p>11月～3月 住民懇談会の開催（継続中）・跡地計画（案）の作成</p>						
成 果		<p><事業手法の確立></p> <p>これまで、被災を受けた跡地（以下低平地）を整備できる事業手法（復興交付金）は「漁業集落防災機能強化事業」に限られており、本事業では、共同利用に伴う公共施設整備しかできなかったため、低平地の事業計画を検討することが困難であったが、「防災集団移転促進事業により発生した残土を活用した用地・道路・水路の高上げ」及び「地元住民等が活用するコミュニティ広場」等の整備について、復興交付金効果促進事業により実施することを認められたため、地元住民が望む幅広い事業の実施が可能になっている。</p> <p>○ 防集残土を活用した盛土造成に伴う支障物撤去事業及び道路・水路整備に係る実施設計業務 → 対象75集落のうち35集落で復興交付金獲得済み</p> <p><住民懇談会の実施></p> <p>低平地の排水対策及び今後の土地利用に係る住民懇談会を開催。</p> <p>○ 対象75集落のうち45集落で住民懇談会を開催（複数集落での同時開催あり）</p>						
成果に係る評価		防集事業により買い取った用地について、将来的な維持管理経費を縮減するためには、恒久的な排水対策を講じつつ、積極的な地元活用を促すことが重要であり、地元利用に対する懇談会の継続開催と跡地計画の策定を進める必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	77,615,646		77,615,646				62,090,000	15,525,646

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																								
	1 項	総務管理費				(2)	地域の方でみんなで守る																								
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援																								
実施計画掲載ページ	P124		中 事 業	地域コミュニティ再生関係費																											
事業コード	001-201-003-00929	事業名	地域づくりコーディネーター事業 (地域づくりコーディネーター支援事業費補助金)〔復興基金〕																												
目的及び事業内容	<p>市民公益活動団体が主体となり、住民主体による地域づくりやコミュニケーションづくりを推進するための継続的に実施する事業に対して補助金を交付し、応急仮設住宅や復興公営住宅入居者、新市街地等におけるコミュニティづくりを図るとともに住民自治組織の機能の充実、強化、再生及び再構築を図る。</p> <p>支援補助額：1団体500万円を限度として補助。</p>																														
取組実績	<p>応募のあった10団体のうち、審査の結果、6団体を採択し、応急仮設住宅入居者等のコミュニティづくりや住民自治組織の機能強化、再生等を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">採択団体名</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>非特定営利法人 石巻スポーツ振興サポートセンター</td> <td>4,129,335円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>WE ARE ONE 北上</td> <td>1,756,969円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>一般社団法人 BIG UP 石巻・一般社団法人 こはく</td> <td>5,000,000円</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>一般社団法人 ビースポート災害ボランティアセンター</td> <td>2,725,255円</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>一般社団法人 キャンナス東北</td> <td>4,386,539円</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>石巻市仮設住宅自治連合推進会</td> <td>3,724,002円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>21,722,100円</td> </tr> </tbody> </table>							採択団体名		助成額	1	非特定営利法人 石巻スポーツ振興サポートセンター	4,129,335円	2	WE ARE ONE 北上	1,756,969円	3	一般社団法人 BIG UP 石巻・一般社団法人 こはく	5,000,000円	4	一般社団法人 ビースポート災害ボランティアセンター	2,725,255円	5	一般社団法人 キャンナス東北	4,386,539円	6	石巻市仮設住宅自治連合推進会	3,724,002円	計		21,722,100円
採択団体名		助成額																													
1	非特定営利法人 石巻スポーツ振興サポートセンター	4,129,335円																													
2	WE ARE ONE 北上	1,756,969円																													
3	一般社団法人 BIG UP 石巻・一般社団法人 こはく	5,000,000円																													
4	一般社団法人 ビースポート災害ボランティアセンター	2,725,255円																													
5	一般社団法人 キャンナス東北	4,386,539円																													
6	石巻市仮設住宅自治連合推進会	3,724,002円																													
計		21,722,100円																													
成 果	<p>NPO団体等の市民公益活動団体の企画力・行動力に基づく支援活動を支援することにより、地域コミュニティの連携強化が図られた。</p> <p>1 非特定営利法人 石巻スポーツ振興サポートセンター 石巻市開成仮設住宅団地コミュニティ維持支援に取り組んだ。特に、開成団地近隣の農地を借用して農園をつくり、野菜作りを通じた入居者のコミュニティづくりは好評で成果があった。</p> <p>2 WE ARE ONE 北上 北上地域内の住民が作るまちづくり計画書案の策定のために住民グループ「きたかみインボルプ」を立ち上げ、20回のワークショップを開催し、「きたかみをおもしろくする提案書」を作成して全戸配布した。</p> <p>3 一般社団法人 BIG UP 石巻・一般社団法人 こはく 釜大街道地区において、「住民及び関係者の連携強化・自立的な地域づくり活動支援」、「防災活動支援」、「子ども支援」、「地域の景観改善支援」に取り組み、今後の地域活動の基礎となった。</p> <p>4 一般社団法人 ビースポート災害ボランティアセンター 仮設住宅及び復興住宅において、仮設きずな新聞を発行して「地元の方が参加しやすい仕組みづくり」、「担い手団体の開拓」、「地域コミュニティを支える担い手育成」、「地元団体との連携強化」を柱に取り組みが行われた。地域の人やボランティアの参加に広がりを見た。</p> <p>5 一般社団法人 キャンナス東北 牡鹿地域、渡波地域において5つの対象エリアに分け、それぞれのエリアの地域課題や特徴に沿った活動に取り組んだ。地域の活動団体のつながりと若者の就労につながった。</p> <p>6 石巻市仮設住宅自治連合推進会 押切沼団地、水押球場団地、大森第4団地の仮設住宅自治組織の維持サポート事業の実施。中央一大通りまち並み委員会への参加、蛇田地区と大橋沖区長との面談を重ね、新しいコミュニティ形成のサポート事業に取り組んだ。時間をかけた取り組みが必要であるとの結論であった。</p>																														
成果に係る評価	<p>震災による甚大な被害を受けた地域や応急仮設住宅入居者のコミュニティづくりには、NPO等の市民公益活動団体による企画力・行動力が必要であり、今後、復興公営住宅への入居が進むにつれ、益々重要となることから、今後も事業を継続していく必要がある。</p>																														
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	30,000,000	21,722,100			21,722,100																										

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	()																								
	1 項	総務管理費				()																								
	28 目	東日本大震災関係費				()																								
実施計画掲載ページ			中 事 業	被災地域交通対策関係費																										
事業コード			事業名	仙石線東北本線接続線整備事業〔復興基金〕																										
目的及び事業内容	<p>仙石線と東北本線の接続線を整備することにより、石巻仙台間の所要時間短縮が図られ、鉄道利用者の利便性が向上するとともに、交流人口の増加が見込まれる。接続線の整備にあたっては、関係する宮城県、仙台市及び東松島市とともに事業主体であるJR東日本に対し、全体事業費の一部を補助することにより、接続線整備の円滑化を図る。</p>																													
取組実績	<p>1 平成26年度補助金額 27,730,000円</p> <p>2 接続線整備事業について (1) 事業概要： ア 仙石線と東北本線の接続線（延長約0.3km）を整備 イ 石巻－（仙石線）－高城町－（東北本線）－仙台の直通運行により石巻仙台間の所要時間を短縮。 (2) 区間：東北本線松島駅～仙石線高城町駅間（0.3km） (3) 総事業費：約18億円 (4) 工期：平成24年度～平成27年度 (5) 整備効果：所要時間10分程度短縮（石巻～仙台間快速比較） (6) 輸送人員：約3,000人（接続線部分）</p> <p>3 接続線整備に係る負担について (1) 補助対象事業費：1,321,700,000円 (2) 補助率及び補助額（県及び各市合計）：1/3、440,567,000円 (3) 負担年度：平成26年度、平成27年度 (4) 宮城県及び3市の負担割合 ア 宮城県と沿線3市 1：1 イ 仙台市と石巻市・東松島市 1：1 ウ 石巻市と東松島市 0.59：0.41（国勢調査人口による仙台市への通勤通学者割合）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">宮城県</td> <td>仙台市</td> <td>47,000</td> <td>63,000</td> <td>110,000</td> </tr> <tr> <td>石巻市</td> <td>27,730</td> <td>37,170</td> <td>64,900</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">沿線市</td> <td>東松島市</td> <td>19,270</td> <td>25,830</td> <td>45,100</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>188,000</td> <td>252,567</td> <td>440,567</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：千円)</p>							区分		H26	H27	合計	宮城県	仙台市	47,000	63,000	110,000	石巻市	27,730	37,170	64,900	沿線市	東松島市	19,270	25,830	45,100	合計	188,000	252,567	440,567
区分		H26	H27	合計																										
宮城県	仙台市	47,000	63,000	110,000																										
	石巻市	27,730	37,170	64,900																										
沿線市	東松島市	19,270	25,830	45,100																										
	合計	188,000	252,567	440,567																										
成 果	<p>宮城県、仙台市及び東松島市とともにJR東日本に対し整備事業費の一部を補助することにより、接続線整備が円滑に進んだ。</p>																													
成果に係る評価	<p>仙石線東北本線接続線が整備され、「仙石東北ライン」の運行開始により、石巻仙台間の運行時間が短縮され、市民の通勤・通学の利便性が向上するだけでなく、観光客等の交流人口拡大による経済効果が期待される。</p>																													
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	27,730,000	27,730,000			27,730,000																									

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画																						
	1 項	総務管理費		第 節																								
	28 目	東日本大震災関係費		()																								
実施計画掲載ページ			中 事 業	被災地域交通対策関係費																								
事業コード			事 業 名	総合交通戦略策定事業																								
目的及び事業内容		復興事業の進展に伴う住居形態や人口推移の変化、JR仙石線・石巻線の全線復旧、新石巻市立病院建設を中心とした石巻駅周辺の整備等、公共交通を取り巻く環境は大幅な変化が見込まれることから、石巻市総合交通計画を見直すとともに、国の都市・地域総合交通戦略要綱に基づいた「石巻市総合交通戦略」を策定するもの。																										
取 組 実 績		<p>1 石巻市地域公共交通会議 石巻市地域公共交通会議を国の都市・地域交通戦略要綱に基づいた協議会としても位置付け、公共交通に関する市民各層、交通事業者及び関係団体のニーズ、意見等を反映させるとともに、内容の検討、承認、総合交通戦略の進捗管理を行うこととした。</p> <p>2 石巻市総合交通戦略調査業務 ・ 調査期間：平成26年7月～平成27年3月 ・ 調査内容：石巻市の交通の現状の整理、市民アンケート、関係者ヒアリング等</p>																										
成 果		<p>1 石巻市地域公共交通会議 平成26年度、計2回の石巻市地域公共交通会議を開催し、民間委員から石巻市総合交通戦略の策定に向け、意見、アイデアをいただいた。</p> <p>2 石巻市総合交通戦略調査業務 ・ 市民アンケート</p> <table border="1"> <tr><td>配布数</td><td>10,000票</td></tr> <tr><td>調査方法</td><td>郵送配布・回収</td></tr> <tr><td>回収数</td><td>3,353票</td></tr> <tr><td>回収率</td><td>33.53%</td></tr> </table> <p>・ 関係者ヒアリング</p> <table border="1"> <tr><td>交通事業者等</td><td>13者</td></tr> <tr><td>商業施設</td><td>2者</td></tr> <tr><td>大学・高等学校</td><td>5者</td></tr> <tr><td>病院</td><td>3者</td></tr> <tr><td>その他</td><td>2者</td></tr> <tr><td>合 計</td><td>25者</td></tr> </table>							配布数	10,000票	調査方法	郵送配布・回収	回収数	3,353票	回収率	33.53%	交通事業者等	13者	商業施設	2者	大学・高等学校	5者	病院	3者	その他	2者	合 計	25者
配布数	10,000票																											
調査方法	郵送配布・回収																											
回収数	3,353票																											
回収率	33.53%																											
交通事業者等	13者																											
商業施設	2者																											
大学・高等学校	5者																											
病院	3者																											
その他	2者																											
合 計	25者																											
成果に係る評価		石巻市総合交通戦略策定に必要な基礎調査データをとりまとめ、平成27年度中の計画策定に向けた作業を進めることができた。 石巻市総合交通戦略は、地域公共交通活性化再生法に基づいた「地域公共交通網形成計画」としても位置付け、バス交通を中心とした石巻市の路線再編網の構築に取り組む。																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	20,220,000	9,864,608	9,612,000				252,608																					

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 節			()	
	28 目	東日本大震災関係費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	復興まちづくり情報交流館整備事業費				
事業コード			事 業 名	復興まちづくり情報交流館整備事業〔復興交付金〕				
目的及び事業内容		復興のまちづくりや地域の取組に関する情報、東日本大震災の記録と記憶の発信（展示）と、被災者同士や被災者と来訪者の交流の場や懇談の場として整備する。						
取 組 実 績		<p>石巻市復興まちづくり情報交流館中央館の整備 所在地 石巻市中央二丁目8番11号 開館年月日 平成27年3月7日 構造 軽量鉄骨造平屋建 建築面積 136.71㎡ 主な展示 ・ 今までのくらし 震災前の祭りの風景、産業、街並み等のパネル ・ 3.11震災 被害状況、被災から現在までの時系列資料等のパネル、映像 ・ これからのくらし 復興事業情報等（市街地立体模型、映像、事業内容資料） ・ 日和山展示</p>						
成 果		復興まちづくり情報交流館中央館を整備し、本市の将来のまちづくりが見え、市民が希望を持てるような、復興事業の進捗状況等の情報提供を行った。 併せて、市民及び来訪者に震災の記録を広く伝えることにより、震災の風化防止、防災意識の向上が図られた。 平成27年3月実績 見学者1,485名（開館日数22日）						
成果に係る評価		今後も運営を引き続き実施するとともに、雄勝館、北上館、牡鹿館及び河北展示の整備を実施し、情報発信と交流事業を積極的に実施して行く。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	82,740,000	81,318,322				55,135,000	26,183,322	